

246号
長野・大阪・
鹿児島発



品に「世に」女性」の年

〈長野から〉AGORAZEE-N 長野の女たちは、いま

〈大阪から〉劇 ガイドラインいうたらウオーマニユアルやでー

〈鹿児島から〉「夫婦間暴力」と「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」

—— 始良郡隼人町のアンケート調査から ——

ハルモニたちとの出会い——「ナムムの家」を訪ねて 本田芳孝

新工業国と呼ばれるマレーシアの女たち サンディ・サカモト

〈99メッセージ〉 女から女へ 女たちへ

〈99は統一地方選〉 差別とたたかい、いのちを守る〈あこらメイト〉をノ

自費出版物をどうぞ

一冊の本を出すのには、数百万円が必要と思ひ込んでいらっしゃる方が多いようです。

書籍は建築物と同じで、目的と予算に応じて、どのようにでも設計できます。

五十万円くらいからでも、どうぞご相談ください。

一九六四年、株式会社として法人登記したBOCは、日販・トーハン・地方小出版流通センターなど、取次店にも口座がありますので、ご希望なら、全国の書店で販売することもできます。ご遠慮なくご相談ください。

書籍や雑誌の企画・原稿を送ってください

「企画はあるけれどもまだ形にはならない」「書きためた俳句や短歌、詩、散文、論文がある」——こんな方も、お気軽に「ご相談を。」

拝見して、ぜひとも出版物にしたい、と私どもも切望する場合は、私どもの出資で夢をかたちにします。ビデオ、スライド、映画等の企画もどうぞ。

女性センターや女性企画室からの「ご相談も、お待ちしております。」

BOC 出版部

〒160-0022 新宿区新宿 1-9-4 TEL 03-3354-3941 FAX 3354-9014

1999年は「地方の年」「女性の年」



「なんとも恐ろしい年になりましたね」

今年は、こんな言葉が書き添えられた年賀状がたくさんありました。

不況、不況の鳴り物入りで、金融機関には惜し気もなく大金が投じられ、「すべては金次第」という風潮のなかで、弱者の歪みはますます大きくなっています。

二十世紀は戦争・石油・科学・情報、そしてアメリカと資本主義の世紀でした。植民地の多くが解放された反面、この世紀に初めて生まれた社会主義国は、足踏みを続けています。

この状況を反転させるのは、生命と人権の尊重以外、ないと思います。

不況、不況といいますが、ここ何年かのデフレは、庶民にはむしろありがたいことでした。ある大新聞社で働く人がつぶやいていました。「今までは毎年賃金上がるのが当たり前、と思っていたけれど、賃金上がるよりも、労働時間が短くなり、みんなで仕事を頑ち合うのが本当ではないだろうか」と。

好況でも右肩上がりは大企業だけで、中小零細企業で働く者には昇給も賞与も乏しく、企業間格差は広がる一方。社会の底辺の構造を変えないかぎり、私たちの未来はないでしょう。

すさむ一方の大都会に比べると、地方にはまだまだ人間らしさが残っています。女性たちも、一步一步、確実に前進を始めました。今年は統一地方選。あちこちの新しい芽を伸ばし、新しい風、新しい流れを起こしたい。九九年は「地方の年」そして「女性の年」です。

(千)

あこら246号 目次

1999年は「地方の年」「女性の年」 1

〔長野から〕 AGORAZEIN 長野の女は、いま 4

関恵美子／築山裕子／山田千代子／斎藤千代

〔鹿児島から〕「夫婦間暴力」と

「リプロダクティブ・ヘルス／ライト（性と生殖に関する健康と権利）」について

鹿児島県姶良郡隼人町のアンケート調査から 13

●グループ紹介 ウィメンズ隼人 22

〔大阪から〕劇 ガイドラインいうたらウォーマニュアルやでー 脚本 有元幹明 24

ハルモニ（おばあさん）たちとの出会い——「ナムムの家」を訪ねて 本田芳孝 36

【報告】新工業国と呼ばれるマレーシアの女たち サンディ・サカモト 44

TOPICS 女性2000年会議はニューヨークで/今年もやります!女のゼネスト ほか 57

集会から 女性国際戦犯法廷をどう開くか/門 玲子さんが毎日出版文化賞を受賞 62

沖縄から 女たちが稲嶺新事に要請/〈新たな基地はいらない、やんばる女性ネット〉ほか 64

阪神から 震災から四年——まけないぞう!/被災者支援に公的措置法案を 68

語りかけたあなたへ18 奨学金 大里知子 70

'99 女から女たちへのメッセージ 72

春 99年は統一地方選 差別とたたかい、いのちと平和を守る〈あいらメイト〉にぜひ一票を!

山田千代子/横田悦子/佐藤ひろこ/寺尾恵子/いけぶち佐知子

83

あいらのあいら 91

イラスト 祝^{いわいぎ}迫まゆ・山下桐子

長野の女は、いま

〈出席者〉

関恵美子（在宅ワーク）／築山裕子（大学院在学）／

山田千代子（長野市会議員）／斎藤千代（あごら編集部）

1998年6月20日(土)

あごら編集部の斎藤千代さんが急に長野にいらっしゃったので、市内在住の会員だけでお夕食を共にしました。思いがけずうちとけた飲談の席になりましたが、その時、記念のためとおいたテープを開いてみましたら、なかなかおもしろいのです。全国各地にも似たような情況があるのかなのか、〈地方からの発信〉の一つとして、率直な意見をお目にかけます。

まだ強い男尊女卑

山田 長野県は、男尊女卑が強い、という話がありますが……。

築山 それは、私は目から鱗が落ちるくらいびっくりしました。まだ長野に来て一年しかたちませんので、長野のことはよく分かりませんが。

斎藤 他県の人びとには、長野は「進歩的な教育県」と思われていますが、丸岡秀子さん、もろさわようこさんはじめ、女性問題のすばらしい研究者が早くから出ているのは、現実の差別があり、それを指摘する自由度もあったのでしょうね。男性でも、佐久病院の若月俊一先生は、そういう男女差別、とくに農村の女性の状況に心を痛められて、「農婦症」を医学雑誌に発表なさった。根本的な対策としては生活改善しかない、そういうキャンペーンもずいぶんなさったようです。

若月先生からうかがったお話で、今も心に残っている話の一つに、農村の嫁の話があります。病に伏して、蠅がた

かり始めている老女が、断固として嫁の世話を拒絶している。「自分は嫁にいじめ抜かれ、自分も嫁をいじめ抜いた。だから嫁の世話は受けられない」と。これは長野ご出身のもろさわようこさんの〈抑圧委譲〉の図式を、ご自分なりに認識している。そのへんが長野が「文化県」と言われるゆえんかもしれませんね。丸岡秀子さんの数々のご労作にしても、ただ訴えるだけでなく、解決の道を示しておられる。男女差別の研究書は、長野が全国でも群を抜いているのではないかと思います。でも、女性運動は、長野ではなかなか力にならないのはなぜでしょうね。

山田 そうですか。私はね、逆に女性問題についていうのは全然意識しなかったくらい、異常に無頓着でした。それがあたりまえという感覚があります。気づかなかったという。斎藤 日本中どこでもそれはあるんじゃないですか。

関 私は中学の時に長野県北部のある町に来ました。そのころ、群馬の学校では女の子がルーム長になったり、児童会長をやったりしていましたが、その町の学校では、決められているわけではないのですが、ルーム長、委員長、生徒会長は男の子ばかりでした。

築山 今もそうなのですか。

関 今は、女の子の児童会長もいて活躍しています。築山 でも、親の世代はそうではなかったんですね。関 ええ。学校の先生もほとんど男の先生ばかりで驚きました。

山田 PTA会長なんかもいつも男でしょう。それで、私頭に来て言っちゃったことあるんです。学校へ行っている言うのはお母さんたちなのに、PTA会長となると男がなる。それはおかしいんじゃないかって。「それなら、山田さんがなったら」って言われましたけど、もうその時は子どもが大きくなっていました(笑)。

関 長野市でも団地みたいな所では、男女平等で女性が活躍しているのですが、ちよつと田舎へ入ってしまうと相変わらず男性中心のしくみが残っているようです。

築山 団地は転勤族が多いからではないでしょうか。団地って外の人の出入りが激しいと思うんですよね。

関 私の友達の話では、団地から夫の実家へはいったら、地域で行われることに全部夫が行くようになった、それは周りがみんなそうしているからですけど、彼女は近所の人たちとも友達になれないし、地域の人たちとなかなかふれあうチャンスがないと話しています。

山田 それはあります。

築山 それは、つい最近の話ですよ。

関 学校の先生が男の先生ばかりというのは、三十年ほど前のことです。

山田 最近はずがに長野県でも六割は女の先生ですね。ようやく女の校長先生も増えてきました。でも、校長になられた方は大変だと思えますよ。

女の問題に気がついたのは

山田 斎藤さんはずっと五十年、女性問題に取り組んでこられたのですか。

斎藤 女性問題を考え始めたのは、一九四六年、焼け跡で春をひさぐ人、内職に追われる主婦に胸を痛めてからです。から、もう五十年以上ということになりますね。大学の卒業も女性問題でしたが、実際の運動をやるようになったのは六〇年安保からです。大体私は運動して嫌いだったんですよ。命令一下で動くというのが軍隊のようで、私たちの世代は原点に戦争があるから、戦争を思い出すと、拒絶反応が出るんです。共産党の全盛時代で、衆議院でも二十九

人も出選したりした時代でしたが。

山田 信じられない。そんな時代があったんですか。

斎藤 あったのです。戦後三、四年は共産党の全盛期でした。私も投票は共産党に入れましたが、「党員でなければアホだ」みたいな迫られ方をすると、考えてしまいました。だいたい私はアルバイトしながら大学に通っていましたから、週に二日くらいしか大学に行けなかったんです。

男の子が大学に入ると家中がサポーターになるけれど、女は「女の子がなんで大学に行くんですか」みたいな時代でしたから、女子学生はほとんど自活していました。私自身は大学の試験を受けたことも、合格したことも親に話さなかった。話さなかったのは、大学行きを親が喜ばなかったからではなく、引揚者で、一家食うや食わずだったので。試験に通ったのに入学しなかったことが何かの機会にわかったら、親はさぞつらいだろうと思って。授業料免除で奨学金が出ると決まって、初めて話しました。

山田 大変な時代でしたね。

斎藤 運動をする時間が全然なかったのです。でもアルバイトは面白かったですよ。せっかくの授業に出られないのはつらかったけど、未知の世界でしたから。

山田 築山さんみたいにお勉強好きな方はどうですか。

築山 恥ずかしいんですけど、私も小学校、中学校の義務教育は勉強しませんでした。家の親がエスカレーター式に大学に行ける所へやったほうがよいのではないかと言うくらい勉強嫌いだったんです。

山田 それで、女性問題を考えるきっかけはなんだったんですか。

築山 私はストリートに大学院へ入ったわけではないんです。大学卒業してから一度就職して、初めて男女差別というものに思いつき出くわしました。ちょうど均等法ができて軌道にのったあたりだったので、期待を膨らませて行つたぶん、期待外れが大きかったです。五年働いて学校へあがる資金を貯めました。まだ博士課程にいるんです。

山田 お年はいくつですか。

築山 三十三歳です。

山田 わあ！今が最高にいいときですね。

斎藤 三十代はすばらしい年代ですが、女の最高は六十年代ですよ。自分が二十代の頃、五十代の方に「女は五十からよ」と言われて「ええっ」と思つたけど、五十歳すぎてからですね、女が本当に面白くなるのは。

築山 希望が湧いてきました。

山田 それは社会的に説得力を持つからではないでしょうか。社会を動かせるという意味では一番おもしろいですね。斎藤 社会を動かすところまでは、私は行っていないんですが、急に物事が見えるようになってきた。若い時に読んだ本を今読み直してみると、この所は、なぜわからなかったのだらうって思うんです。自分の中にデータベースがたくさんできて、物事を見る目が深くなっていく、という感じがしたのです。

山田 年を取るのが怖くなくなりますね。

関 私も年を取るにしたがつて心が穏やかになってきました。若いころは「むなしい」といった気分がよくあったのですが、最近は「幸福だ」って感じる事が多くなりました。

山田 それはとても大事なことでないでしょうか。

斎藤 今、四十代の主婦で幸福な人はたくさんいますよ。

関さんはきつといい暮らししていらつしやるのね。へい暮らし〜っていうのは、お金があるとかそういう意味ではなくて、ご自分がきちんと生きてきたという。

関 夫婦関係がよくなつてきたことが幸福につながっているような気がします。私は結婚したばかりのころ、離婚し

ようかと思つたことがあります。どなたでもそんな経験があると思いますが、わかりあえないということ。今でもあまり話はないけど、黙っていてもいたわりあえる、そんな関係になつてきたんです。

山田 それはありますね。夫は戦友のようなものです。私は市会議員をやっているので、夫の協力がなかったら絶対にやっていけないから「同志」です。

問題に一番近い人が発言している

斎藤 山田さんは、どういう動機で市会議員になられたの。

山田 それを聞かれると一番困っちゃうんですよね。不純な動機だったりして。

斎藤 就職のため？

山田 そんなことはありません。

斎藤 何か、草の根の運動でもしてらしたのですか。

山田 ボランティア活動です。市民運動の。そのとき女性運動をしている人たちから、私に声がかかったんです。本当は女性運動をしている人たちの中から市会議員が出るべきです。ところが、出せなかった。それも女の問題ですけ

ど、女が女の足を引っ張るということです。私は外にいたアウトサイダー、どちらかというと女性問題に無関心でいた人だから。年齢的にもちやうどよい四十八歳でした。それで、目をつけられたんです。私は六〇年安保の世代ですから、政治にはずっと関心がありました。政治学をやったかつたくらい。私はボランティアセンターにいて、行政に對してすごく抵抗しました。こういうやり方はだめだつてね。本当に首切られる寸前までたたかれましたね。それでも可愛がつてくれる人に拾われたりして。そこで、政策決定の場に女がいらないという、そこに問題があるということに気づいたんです。私が一番びっくりしたのは少子化の問題と保育の問題ですね。まったく子どもを産まない人が、とんでもないことを言っているわけです。

築山 「子どもを産まない」というのは男性のことですね。

山田 そうです。子どもを産まない人が意見を言うことも、とても大事なことで、非常に見当はずれのことを言っているから。決定の場にいろいろな人がいて議論をするのならいいんですけど、子育ての経験のない人たちがばかりの一方的な考え方が正当化されていつて、その人たちだけの意見が上がつていくということについては問題だと思

います。

築山 結局、介護の問題も同じではないでしょうか。介護なんてする気もないし、しなくてはならないというせつばつまった環境にいない人たちが、政策決定の場に関わっていることが理不尽なんです。だから福祉は女性問題だと思うのは、そういう点です。今まで女性がアンペイドワークでずっと荷ってきた問題に行政が介入するというのであれば、今まで泣いてきた人たちの意見を尊重する、あるいは聞き入れるという対応が最低限必要ではないかという気がするのです。

残念ながら女の足をひっぱる女もいる

山田 ようやくね、少しそういう風が吹いてきましたよ。

そういう人たちの意見を聞きましようって。しかし、ここにまた、問題があるんです。女性の中に問題をかかえているということ。長野市の場合、審議委員が二〇%です。十人のうち二人が女性ということで、貴重な存在です。市議会の場合は四十四人のうち女性は三人です。三人でがんばらなくてはならないのですから、男性の何倍も言わなく

てはいけません。審議委員に選ばれた女性も、自分の意見をきつちり持ちながら、みんなを代表して積極的に意見を言っていかなくちやならないんですが、言えないんです。

築山 言わないんではなくて、言えないんですか。

山田 言わないこともある。勉強不足ということもあるし、自分の考えを持つていないから、言えないのではないかと思います。

築山 それは、すごくショッキングな話です。せっかくの機会をつぶすなんて、その人選にミスがあるんじゃないですか。

山田 そうなんです。行政も「それはおかしいから、意見を言える人を出して欲しい」ということですが、一人の人がいくつも兼任していて、大事にされていますから他の人に渡さないんです。

斎藤 それは国レベルの審議会でも似ていますね。国の審議会の委員の方は、皆さんよくご発言になるけど、人選が圧倒的に「政府寄り」に偏っているのです。一人で十一の審議会の委員をしている方さえあった。最近の兼任はかなり制限されるようになりましたが、三つまではいいいようです。そして圧倒的に学者が多い。現場の人はほとんどいな

いのです。

山田 それは地方も同じですね。

斎藤 国会でも私たちがあんなに期待したマドンナが、肝心なところで日和っちゃったでしょう。小選挙区制の時などは、土壇場で半数以上の人が賛成に回っちゃって。だから私、女の数が多ければいいとは、だんだん思えなくなっちゃった。

山田 そのとおりです。数だけ多くても、逆にいい人の足を引っ張るということもあるのね。

築山 職場でもよくありますね。

斎藤 いい人っていうのは、わりとおとなしい人が多い。そんなに人をかきわけてまでもやらない。「声が大きくて、発言回数が多い人の意見が支配する」と上野千鶴子さんは言っていますが。

山田 長野でもオリンピック関係で、コーディネーターとしてボランティア活動をしている人がいます。体が大きくて声も大きくて、インパクトがあるんです。それで、その人の所にみんな人が集まるんです。じゃあ、その人が何やったかというと、今になってみるとよくわからない。人って、目立ってアピールする人についていくんです。

築山 その人についていく人たちも、勉強不足ということですね。選挙と一緒にですね。

斎藤 それもあるし、ある強烈な政党の肩書きを持っている人は強いですね。政党ぐるみで意見を主張する。個人なら折れるけど、政党っていうバックアップがあるともう絶対折れない。というか、折れることが不可能なんですね。

北京会議の前のブレ会議の決議文でも、私たちは「あらゆる兵器の撤廃」というのを入れたかったですけど、「党は核廃絶しか認めてないから」と、断固否定され、結局私たちが妥協したのです。そこまでして決議文を決めておいて、会議の前日になって「肌が合いませんから」と、降りてしまわれた。印刷物も出来てしまったあとです。そういうことが何度もありました。不思議な世界がありますね。

関 子どもの世界と同じですね。子どもの世界も元気のいい子が仕切っちゃうじゃないですか。

斎藤 そうですね。そして子どもの時におとなしい人は、たいてい大人になってもおとなしいですね。子どもの時に仕切っていた人は大人になっても何かの会長をしていたり名譽職に就いていることが多いようです。

山田 最近、女性も高学歴化していますが、なんのお勉

強してきたのかわからない、本当にお利口さんになっていない気がするのです。

築山 でも、それは社会のいう〈お利口さん〉とちよつと違うのではないでしょうか。あの人はお利口さんというところ、自分の意見は言わないで、その場、その場に合わせるような人です。彼女は利口だから、彼は利口だから、で、君も少しは利口にならなさいと言われる。だから言わないほうが何の摩擦もなく、平和に暮らせる。よくよく考えてみたら何も考えるなということですね。意見を言えばあいつはバカだと言われる。せっかく考えて意見を言つて、多大なエネルギーを使つている割には、誰からも替められない、非難ばかり浴びてペツシャンコになるのを待つだけというか。

山田 特に会社はそうですね。

築山 会社だけでなくどこでもそうなんではないですか。

山田 でも、それを恐れていては進歩がないと思うのよね。あなたたち若い人には、そういう風に思つてもらいたくない。勇気を出して言つていつてもらいたいと思います。

築山 まあ、そこはパーソナリティーなのかもしれない。

そこでお利口さんになれる人と、言わないとストレスがた

まってしまうもなくなってしまう人と。私なんかまだ三十代で血氣盛んなものだから、言つてしまつてバカ扱いされるケースが多いんです。でもこういうエネルギーつて、できたら一生持ち続けたいと思うんです。山田さんはそういうエネルギーをずっと持たれているわけですよ。

山田 そうよ。だからいつも頭をたたかれています。バカだから。でもいいじゃないですか。

築山 バカだからとか、あの人は利口だからとかつていうのは、男の論理というか、そういう尺度なんだということとは明らかなんですけど。関さんはそういうことないですか。

関 私はそういう公の席に出たことがないですから。ただ、友達や夫に「そのうち夫婦別姓の時代がくるわよ」なんて言つて、ずいぶんバカにされた経験があります。

築山 最も身近な人たちに面と向かつて言われるの、つて、きつくないですか。

関 きついです。バカにされると、もうそういう話はしませんね。言つても無駄だと思つてしまふ。私はすぐ諦めちゃうんです。

築山 その中で最も抑圧的なのはパートナーではないで

しょうか。配偶者が理解があるのとないのとは、女性の生き方がえらく変わってくるのではないかと思うのです。

関 そうですね。でもその配偶者っていうのは、少しずつ変わっていくと思うのです。時間はかかったけど夫は変わりました。私は夫を変えることを諦めて、夫に頼らず、自分ができることは自分でやっていけばいいと考えて過ごしてきました。いろいろ経験して本も読んで、言葉や態度で相手を変えようとしても駄目だと気づいたからです。自分の思っていることは自分の中で黙々とやっている、私は夫のいいなりにはならないわ、という感じで、そのかわり夫にも自分の考えを押しつけないと。

斎藤 関さんの場合はおつれあいもよかったのではないですか。旦那さんが立身出世コースに乗っちゃうと、それだけでどんどんつまらなくなると、よく耳にします。周りからチャホヤされるうちに、人間性を喪っていくのでしょうか。厚生省の岡光次官の奥さんなんか、夫が変なことしているのに、どうして気がつかなかったんだろうと思います。マンション買うお金の出所はどこかとか。

山田 苦勞しながら家計を切り盛りしていれば、「おかし

い」と気がつきませうけれどね。

関 築山さんのおつれあいは、家事をなさるのでしよう。

築山 はい。彼も以前から女性問題には興味をもっているので、積極的に家事参加します。よりよい関係を築くには、互いに依存し合うのではなく、自立することが大切だと考えています。もちろん、こういう考え方は、親類をはじめとした周囲にはなかなか理解はされていないのですが。

斎藤 でも何といっても、今はよくなったと思いますよ。男の人も家事を手伝うのがあたりまえという時代になった。それが一般的になってきたというのはスゴイことです。女の人も、必ずしも結婚しなくてもよくなった。これは、男の意識に大変化をもたらしましたね。「女性の氣に入る男」にならないと、結婚もできなくなつた。

山田 先日「フォーラム・イン・長野」が開催され、群馬パース看護短期大学教授の内藤和美さんの講演をお聞きいたしました。

このお話の中で二分化された性的秩序のお話が印象的でした。私たちの年代はいまだに「女らしさ」「男らしさ」の呪縛に悩まされている現実がよくわかりました。

二十一世紀には少しは明るさを見出したいものです。

● 鹿児島から ●

「夫婦間暴力」と「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康と権利)」について

—— 鹿児島県始良郡隼人町のアンケート調査から

〈ウイメンズ隼人〉(代表 中野ヨシ子さん) から、夫婦の深層にふれた興味深いアンケートの結果が送られてきたので、ご紹介します。

昨年7月25、26日に開催された「ハーモニーセッション98 in 隼人」の一日目、〈ウイメンズ隼人〉が第三分科会「女性の人権を考える」(ところとからだの自立をめざして)を担当することになり、分科会に備えて「夫婦間暴力」と「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」について行なったアンケート調査です。

1、調査の目的

隼人町における夫婦間暴力とリプロダクティブ・ヘルス／ライツについての認識の程度を知り、自分たちの学習の手がかりとし、また、分科会実施時の参考にする。

2、調査対象

隼人町内の男女500人。

3、調査方法

アンケート用紙を一枚ずつ封筒に入れ、メンバーがそれ

ぞれ職場、友人宅、集会場に持参し、記入依頼してそれが回収した。

4、調査期間

1998 (平成10) 年5月18日～6月27日。

5、回収状況

回収数	358	回収率	71・6%
有効回収数	337	有効回収率	67・4%
(女性 217/男性 120)			

6、結果

①調査対象について

〔性別 年齢〕

年代	男	女
20代	16人	14人
30代	37	54
40代	44	79
50代	19	39
60代	4	28
70代	0	3
計	$\frac{1}{2}$ 0	$\frac{2}{1}$ 7

〔結婚の有無に関して〕

(女)

年代 未婚 既婚 不明 計

未婚

既婚

不明

計

(男)

年代 未婚 既婚 不明 計

未婚

既婚

不明

計

30代 20代 3 6 31 8 3 2 37 16

合計 10 180 27 217

0

1

2

3

70代 60代 50代 40代 30代 20代 0 1 0 3 0 6

19 35 70 49 6 5 2

28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 2 8 4 6 5 2

3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

70代 60代 50代 40代 30代 20代 3 28 39 79 54 14

(女)

〔職業に関して〕

年代	専業主婦	専業主夫	パート	その他	不明
40代	1	0	0	0	1
30代	18	12	10	14	2
20代	6	17	42	15	2
10代	1	18	12	10	14
合計	10	99	11	120	17

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

(男)

50代	0	11	0	8	19
60代	0	0	1	3	4
70代	0	0	0	0	0
合計	1	75	2	41	120

②アンケート内容

I 「夫婦間暴力」について

(1) 今、夫婦間暴力が社会的問題になっていることを知っていますか。

	女	男
知っている	164 (75・5%)	86 (71・6%)
知らない	46 (21・1)	29 (24・1)
記入なし	7	5

(以下、上段は女、下段は男)

(2) あなたは夫(パートナー)から暴力を受けたことがありますか。(あるいは妻に加えたことがありますか)

ある	28 (12・9)	18 (15・0)
ない	180 (82・9)	90 (75・0)
記入なし	9	12

*「ある」と答えた人のみ その暴力はどのようなものでしたか。

髪の毛をつかんでひきまわす	0	2
強く殴る	14	13
額を壁にぶつける	0	2
首を絞める	2	1
人間以下の扱いで激しくののしる	3	3
その他	9	5
(その他はものを投げる／突き倒す／ビンタ……など)		
*あなたは暴力を否定する気持ちで夫に伝えましたか。(妻から伝えられましたか)		
伝えた	17	7
伝えてない	3	3
わからない	8	8
*あなたは夫からの暴力について親族、友人、その他の人に相談したり、打ち明けたことがありますか。		
ある	13	3
ない	14	9
記入なし	1	6

*相談した人は、その時、相手はどのような助言、指導をしてくれましたか。

夫に暴力を振るわれる妻が悪いと言われた	3	1
我慢が足りないと言われた	4	1
なぜ逃げないのかと言われた	4	1
離婚をすすめられた	2	2
相談窓口を紹介された	1	0
その他	3	2

*「相談したことがない」と答えた女性におたずねします。
どうしてですか。

家庭内のことを外に漏らすのは恥ずかしい	2
他人ではなく夫のことだから	2
その時以外は優しいから	1
子供のために我慢する	1
その他	1

◇恥ずかしいとは思わないが、相談する必要はないと思う。

◇一回だけあったが自分も叩き返した。

◇その時の気分次第。

*暴力を振るう原因について思い当たることがありますか。

あると答えた人 女4人 男3人に。その時の対応は？

◇相手の欠点を激しくののしった。

◇自分がその倍言い返し、よけい怒らせている。

◇夫は短気で自分の思うようにならない時。

◇口答えが多かった時。

◇仕事がうまくいかない時。

◇夫はわがまま、夫が外出したい時。

*「暴力を受けたことがない」と答えた人のみ

もし、あなたが夫（パートナー）から暴力を受けているとしたら、あなたはどうしますか。（上段女、下段男）

我慢する	2	3
他に相談する	43	6
避難する	11	2
離婚する	68	4
わからない	30	5
その他	18	1
記入なし	8	69

その他の内容

相手に抗議し、話し合ってダメなら離婚。

暴力で自分を通す人でないので今後もないと思う。

負けず体当たりをしてみる。

やられたらやり返す その後離婚。

話し合う。

絶対離婚。

(女)

お互いに話し合えるように努力する。

パートナーの言い分を聞く。

仕返す。目には目を、暴力には暴力を。

暴力を受ける可能性は全くない。したがって考えられない。

(男)

ない。

(3) あなたの身近に、妻に暴力を振るっている人がいますか。または、聞いたことがありますか。

ある

ない

記入なし

7 9

(4) 夫婦間暴力について、自由に書いて下さい。

暴力は絶対良くない、最低、許せない

自己抑制の欠如した、男性のわがまま

我慢せず自立すべき、強くなるべき

理解に苦しむ、他人にはわからない

暴力は犯罪、病気だ、何らかの対処を

相談したり、自分を守ることが大切

自分の激しい言葉に原因がある

お互いがままを言わず努力すべき

暴力は絶対にいけない、手を出すべきでない

実感できない、何も言えない

夫婦の事はわからない、喧嘩は珍しくない

相当我慢している、妻の態度が悪い、強い

暴力に対して我慢する必要なし

子供に悪影響を及ぼす

未熟な人に多い

態度や言葉を改めていく

実態を正確につかんで欲しい

バカバカしい

その他

(女)

(男)

3 1 1 1 1 1 1 4 4 5 5 12 1 4 5 8 15 20 42

II「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)について

(1) あなたはリプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉聞いたことがありますか。(上段女、下段男)

ある 20 6

ない 18 6 11 3

記入なし 11 1

*「ある」と答えた人はリプロダクティブ・ヘルス/ライツの内容を理解していますか。

理解している 2 3

少しはわかる 14 2

わからない 4 1

(2) あなたは性生活で回数、満足度について自分の意思を夫に伝えることがありますか。

ある 69 59

ない 12 3 49 59

記入なし 25 12

*伝えたことのない人はどうしてですか。

テレくさい 14

どうでもいいことだ 1

妻(夫)にはわかっていて 15

記入なし 11 8

(3) あなたは妻(夫)の体調が悪い時に性交を求めたことがありますか。

ある 8 21

ない 18 6 87

記入なし 23 12

*「ある」と答えた人のみ、それはどうしてですか。

自分をコントロールできないから 3 8

いつでも応じてくれるから 1 1

それはパートナーの務めだから 2 12

(4) あなたは子供を産む時に夫や他の家族に子供の人数や性別について意見されたことがありますか。

ある 42 8

ない 15 4 57

記入なし 21 55

*何と言われましたか。

◇家の跡を継ぐ男の子を産め

◇次は男の子がいい、女の子がいい

◇3人以上産みなさい

◇2人目はまだか

◇子供は男の子1人でいい

◇落ち着いてからが良かったのに

◇年齢的に今回で終わりにしなさい

◇子供は後回しにして仕事から覚えてほしい

*子供がいないことで夫や他の家族に何か言われたことがありますか。何と言われましたか。

ある 2 5

◇子供がいないと老後が心配

◇子供を早くつくりなさい

◇跡継ぎを早くつくりなさい

ない 13 14

(5) あなたは体外受精や出生前診断について、どう思いますか。

〈体外受精〉

本人の自由、ケースバイケースで

自然でない、自然に任せるべき

良い、必要なこと

難しい問題である

自分はしたくない

尊厳をほうとくする

規則や議論が必要

どちらとも言えない

何とも思わない

〈女〉

良いと思う

自然な行為でない、良くない

本人たち次第

規則、議論が必要

どちらとも言えない

ノーコメント

〈男〉

27 24 21 9 5 2 2 3 21 10 4 2 4 2

〈出生前診断〉

良いと思う

6

しない方が良い

5

誕生の夢が薄れる

3

差別につながる

1

議論が必要

1

尊厳をほうとくする

1

やむを得ない

1

(女)

良いと思う

1

どちらとも言えない

3

良くない

2

(男)

(6) 母体保護法という法律を知っていますか。

知っている

137

53

知らない

59

51

記入なし

21

16

(7) あなた(あなたの妻)は中絶をしたことがありますか。

すか。

(女)

ある

56

ない

144

記入なし

17

23

53

44

(8)

人工妊娠中絶について、あなたの思っているしやることを書いて下さい。

何とも言えない、罪深いこと

32

殺人である、命は大切、できるだけ産んでほしい

17

避妊、家族計画をしっかり

11

してはいけない、抵抗がある、罪深いこと

8

女性は今身ともに傷つく

8

責任ある行動で、自分を大切に

5

中絶したことを後悔している

5

教育が大切

3

夫婦の話し合いが大切

3

子供は待ち望まれて産まれるべき

3

男性の責任もある

2

社会的条件が整えば産める

1

(男)

何とも言えない、仕方がない	18
中絶しない方が良い	9
ケースバイケース	4
女性は心身ともに傷つく	3
望まれず産まれた子は不幸	2
妻を傷つけてすまない	2
夫婦で良く話し合って決めよう	2
良いのではないか	1
避妊、家族計画が大切	1
医師の技術が問題	1
あまり深く考えない	1

〔参考〕

◆夫婦間暴力

○暴力を受けたことのある女性の職業の有無

常勤21名 パート3名

専業主婦4名(60歳以上)

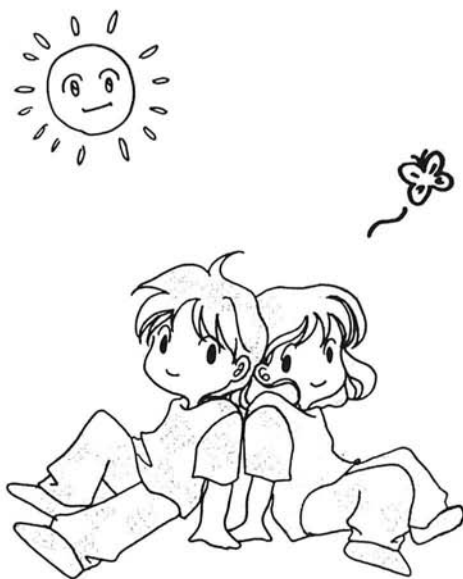
○暴力を受けたことがない人への設問「もしあなたがパートナーから暴力を受けているとしたら、あなたはどのようなか」の答えに関して、職業との関係を見てみると

◆リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

○性生活で自分の意思をパートナーに伝えている女性69名の職業を見てみると

常勤35名 パート20 専業主婦14

「離婚する」	常勤27名	パート22	専業主婦17
「避難する」	常勤4名	パート4	専業主婦1
「他に相談」	常勤8名	パート10	専業主婦20
「わからない」	常勤7名	パート7	専業主婦10



●グループ紹介● ウイメンズ隼人

隼人町は、人口が約三万六千人、鹿児島空港から車で十分くらいの町です。上野原遺跡と「花は霧島たばこは国分」の隣の町で、今は大企業のベッドタウンでもあります。みょうばんの質の高い温泉の町として知られています。

アンケートの結果でも「後継ぎである男の子を産みなさい」など、家制度も根強く残っている町。そこで活動されている〈ウイメンズ隼人〉の代表、中野ヨシ子さんにお話を伺いました。



Q 〈ウイメンズ隼人〉結成のきっかけは？

A 隼人町の女性講座の出身です。希望者でつくりましたが、一緒に講座を受けたので、意識にバラつきがなく、行動が早いのがとります。

Q アンケートをとろうと思われた動機は？

A 隼人町実行委員会主催の、県のハーモニセーションの資料として、「ドメスティック・バイオレンス」「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉が一般に普及しているかどうかを知りたいと思ったのです。

Q アンケートの内容はどうやって決めたのですか。

A “女性の人権”ということで、どこから踏み込んだらいいか悩みましたね。

Q 回収率がとてもいいですが、どれくらいの期間で集めたのですか？

A 自分たちでアンケートをお届けして回収も自分たちで足を運び、約一か月くらいで集計、統計をまとめました。

Q 足を運ばれたという熱意が回収率につながったのでしょうか。アンケートをとってみられて、感じたことは？

A つくづくよかったと思っています。中高年の男性からの拒否もありましたが……。今後、私の場合は、助産婦という仕事を通して「リプロ」の意識を伝えていこうと思っているところです。“女性の人権”について確認できたことも大きいですね。実情を知り、問題が見えてくる時は離婚というケースが多いようですが、なんと働いている人の方



ウィメンズ隼人のメンバー

□前列向って左より／岩元三枝子さん・中野ヨシ子さん・森寿恵子さん

□後列向って左より／岩井堂節子さん・力石久美さん・楠元明美さん

平田紅子さん

□円内／前サチ子さん

が暴力を受けているんです。それも専業主婦の場合、みんな六十歳以上なんですよね。経済的自立と我慢の度が反比例するということでしょうかね。

Q まずは現状を知ることから始めよう！という、地に足のついた活動ですね。

A 実は、学童保育（児童クラブ）が今年やっとできることになって、女性の働きやすい、活動しやすい条件整備という視点で、福祉にとりこんでいきたいと思います。

Q 今後はどのようなことをされていかれますか？

A 隼人町で四百五十年続いている初午祭というお祭りがあるのですが、手づくり馬のコンテストなど地域に根ざしながら、地域の高専の留学生や大学の沖縄県人会とか、社協とのパートナーシップで、障害児など弱い立場の町内外の人たちとネットワークしていきたいと思っています。だれでも参加できるお祭りを存続・発展させていきたいいなアと願っているんです。重度心身障害者施設の子どもが、お祭り参加がきっかけで発語した例もあるんですよ。青空市場・バザーや上映会などを通して、今後子どもや女性など、弱者の側に立って活動をしていきたいと思っています。

（聞き手へあごら鹿児島）小川みさ子

〔大阪から〕

劇ガイドラインのたの ウォーマニユアルでー

自自連立の動きのなかで、憲法まで揺れようとしています。問題をわかりやすく示さなくては。一九九八年十二月六日「九条連・近畿」主催の「ほんまかいな周辺事態！ つくろう平和・市民のつどい」で上演された劇が好評でしたので、台本をお目にかけます。脚本は有元幹明さん。有元さんにお断わりして、各地で上演したり、アレンジなさったらいかがでしょう。



かひな？周辺事態・つくろう平和！市民の集い
『九条一世界へ未来へ近畿地方連絡会』



◆登場人物

- A 六〇代中頃の男性 〈九条連・近畿〉の会員
B 三〇代 男性 労働組合員
C 三〇代 女性 労働組合役員
D 四〇代 女性 労組活動家
E 三〇代 男性 //
F 五〇代 男性 平和運動家
G 五〇代 女性 Fの妻

（舞台にベンチ、ハの字型に置く）

A、舞台左ソデから現れる。頭をふりふり、何かボヤキながら中央へ。

B、舞台右から軽やかに出て来る。Aに気づく。

B おっちゃん、何ブツブツいうてんねんナ。何か心配事でもあるんかいナ。

A おお、B君、これが心配せんとおれるかい。ほんとは、あんたら若い衆がもっと怒らなあかんのや。

B おっちゃん、何怒ってんのや、何のコツチャわからへんがナ。

A あんなア、こないだ日本政府とアメリカ政府が取り決めたしよったガイドラインのこと知ってるか？

B 知らん。そないいうたらテレビでスカイラインかガイドラインかいうとったナア。それがどないしたんや。

A わしナア、前から日本の憲法はエエ思とったんや。とくに九条は世界に誇れる条文や思てる。国と国とのトラブルを武力で解決せえへん。陸・海・空軍これを保持しないなんて、世界中の国にもつくらさなアカン思うてるんや。

それが、このガイドラインいうので、憲法九条が骨抜きになつてしまふんや。日本語では「日米防衛協力のための指針」のことをガイドラインいうとるんやけど、同じことがアメリカでは「ウォーマニユアル」というとるそうや。

B フーン。ほんで？

A マニユアルいうたら、孫の持つてるゲームにもついでるがナ。あれ手引き書いうこつちやろ。

B そうや。

A ウォーいうたら戦争のこつちや。ほんなら、これ「戦争のやり方」いうこつちや。

B フン、フン、そやなア。

A 戦争いうたら一番先に引つ張りだされるのは若い衆やんか。わしら戦争でエライ目に遭うたもんは、二度と戦争やつたらアカンいう強い気持ちがあるんや。そやけど、わしら年寄りに赤紙はけえへん。お呼びじゃないんや。こんな大事な話、国民に何にも知らさんと決めよったんやで。これが腹立てずにいられるカツちゅうんや。

B おっちゃんの話ちよつとわかる氣してきたワ。もつとわかりやすう話してエな。

そこへ男女三人通りかかる。

B オーイ、Cさん、何処行くねんナ。

D みんなでカラオケでも行こ言うてんネン。

B ちようどエエワ、このおっちゃんの話聞けへんか。若いモンが聞かなアカン言うてはんねん。

C 何の話やの？

D 今から遊びに行こ思てんのニ。

E 行こ、行こ。

B ちよつと待ちいな。いま、このおっちゃんから、ボケー

ッとしとつたら、僕らの知らんうちに日本が戦争に巻き込まれてしまふ、怖い話聞いてんのや。あんたらも一緒に聞こうな。

Cへえ、私、そんな話興味あんネン。皆も遊ぶのん後にしておっちゃんの話聞こ。ナ。

Eフーン、そやなア。あんたがそう言うんやつたら、しゃーないなア。

Aおい、おい、わし何も講演会やる言うてんのと違うでエ。弱ったナア。

Cちよつと待つてやー。うちの隣に、あっちこつちで平和の話してはる人がいてはんねん。今日は日曜やからたぶん家にいてはるワ。ここへ来てもらて話してもらえへん？

Aそやなア、わしももつと詳しいこと知りたい思てたんや。丁度エエ、連れて来てくれるかア。

Cちよつと待つてや、呼びにいつてくるから。

C、舞台ソデに駆け込む。少ししてFとGを連れてくる。

C来てもうたよ。この人がFさんや、奥さんも一緒や。

Aエライすんまへんなあ、Aと言います。せっかくの休

みやのに呼び出したりして。

Fいやいや、どういたしまして。皆さんこんにちは。

(みんな頭を上げてあいさつする)

Gいややわあ。今日は久しぶりに映画見に行こ思てたのに。

Fまあ、そう言わんと。Cちゃんにちよつと聞いたんやけど、ガイドラインのこと話してほしいいうことらしいですネ。

Aそうでんねん。Fさんはあっちこつちで平和講演してはるいうからガイドラインのことも、きつとしゃべつてはるで思て。ワシも《九条連・近畿》いう憲法九条を世界に未来に伝えよ、いう会に入つて平和のことやってまんねんけど、ガイドラインのこと、マスコミはちゃんと報道しとらんと思いまんのや。憲法九条がないがしろにされるいうのに。エライコツチャ思てまんねん。

F(妻に)映画は今度にしよ。ナ、「ブライベートライアン」はまだやってるさかい。(皆に)スピルバーグ監督の映画やけど、彼は「戦争」なんてヒーローなんかおれへん。

戦争は人殺しや、恐かなもんや思て作つた言うてたんで見に行こ言うてましたんや。

C すんません。

E おもしろそうやな。オレも見にいこうかな。

F どういたしまして。Aさんの言うてはる通りです。私も、このところ講演では、このガイドラインのこととピースおおさかのことは必ずしゃべるようにしてますんや。あの戦争を仕掛けた東条英機をヒーローとして描いた『フライド』という映画が右翼の会社の会長が十何億も金出して全国上映したり、横浜では南京虐殺を背景にした『南京1937』の映画の上映中に右翼の青年にスクリーンが切り裂かれたり、朝鮮のロケットが飛んだ言うて大騒ぎして、在日の子どものチマチョゴリが切り裂かれるいう事件が起きたりしてますネ。これで国際国家なんてエラそうなこと言われへん思います。

D 大阪はオリンピック誘致や言うて一生懸命やけど、アジアの国は来てくれるやろか、今から心配せなあかんのとちがうかしらネ。

C 藤岡信勝いう東大教授ら、侵略戦争を正しかった言うてる運中を好きにさせとつたら、そら、大阪オリンピックにアジアからは参加しないんちゃう？

D 私もそう思うワ。

E ボク、この前、組合の平和学習でピースおおさかへ行ったんやけど、日本がアジアでしたこと、おじいちゃんに聞いてたこと本当やったんやなア、ヒドイことして、まだちゃんと謝ってへんのは間違うてる思たワ。真実は一つや言うやん。あつたことはあつた言うて正しい歴史を教えあかん思うワ。

C そうや、藤岡らがピースおおさかは日本の悪いことを展示してる自虐的博物館や言うてるけど、あそこ見たからいうて日本をきらいになるとは思えへん。歴史をちゃんと見て、これからは仲良くしようということが大切なんで、あつたことをなかったことしたらどこからも信用されへん。あの連中ピースおおさかを攻撃してるらしいけど、あそこは大阪府民の財産や、絶対守らなあかん。

F 若い人がこんな意見もってるのん聞いて嬉しうなってきたワ。その通り、ピースおおさかは平和の拠点や。この間、△ピースおおさか「市民ネットワーク」いうのが出来たんで、皆さんも参加してえナ。市民が力合わせな、それこそ、日本は危険なほうへ行つてしまふと思ひます。

皆さんが心配してるガイドラインは危険な道に進むマニユアルですヨ。ガイドラインは今から二十年前、まだソ

連があつて、東西冷戦状態の時、ソ連を敵にして日米で安保協力を決めてたんやけど、ソ連が崩壊してしもたから、時代に合はんようになったいうて、おとし橋本内閣になつてクリントンと「安保共同宣言」に署名して、去年新ガイドラインを決めたんです。

A 二十年まえからあつたんは知らんかったナア。そやから新ガイドラインいうんやな。

F ことし（一九九八年）の四月二十八日、この新ガイドライン関連法案が国会に上程されたんで、それから私も問題にしましたんです。

E エッ、国会に法律案が出てるんですか。それどんなんですか？

F それは三つの法案です。みんな問題ですけど、一つ目の「周辺事態措置法」いうのは、中身が恐ろしいものになつてゐるんですワ。

B 「周辺事態措置法」？

F 私らは自衛隊は憲法九条に違反した存在だと言つてきたんですけど、専守防衛やいうて攻められた時は本土を守らなあかんいうて、憲法をムリやり拡大解釈してまで自衛隊をつくつてきたのに、この法案では、朝鮮半島や台湾海

峽も含んで、アジア太平洋地域でアメリカが戦争をしたら自衛隊が出掛けることになることを書いてるんですネ。

C 海外派兵は憲法違反ですよ。

F それがですネ、日本政府が周辺事態だと認めたら、防衛庁長官が自衛隊に出動を命令し、国会には事後報告だけでよく、拒否権は認められていないんですヨ。

C そんなバカな。国会抜きで戦争できるなんて。

F そう、そんな馬鹿なことを決めようとしてるんですよ。この間、自民党と自由党は、この新ガイドラインの早期処理と憲法改悪を狙う「憲法調査委員会」を設置することで合意しましたが、反動的な政治状況になつて来てるんですよ。

D 自民党や自由党には憲法改悪に命をかけてるみたいなのがおるから、こつちがしつかりせないかんと思うワ。

B 「新」つていうけど、どんなふうに変つたんですか？

F 一つ目は、いま言つた「周辺事態」ということで外国での戦争に米軍と自衛隊が共同して出動することですネ。二つ目が、このような自衛隊の海外出動が国会の承認によらないで、総理大臣の権限でできるということ。三つ目は、周辺事態という理由で外国での戦争に、国内の空港や港湾

など地方自治体や民間企業を動員できるようにすることですヨ。こんなこと、憲法九条の立場からも、これまでの安保解釈から言っても、あり得なかった米軍への軍事協力が国民的な議論も同意もないまま、実務者同士で決めてしまったんですヨ。

D エーッ、地方自治体も民間も巻き込まれるんですか。ほんなら、私のお父さんとこのJRなんか、一番先に戦争協力させられることになるのとちゃうノ。

F そういうことですヨ。関空も伊丹空港も民間企業で利用してるし、港湾だって大体が地方自治体が運営してますネ。大阪港なんか大阪市民がお金を出して作って来た市営港ですよ、それが戦時中に軍が入って強制的に軍港にさせられた歴史があるんですが、この法律が出来たらそんなことになりかねないですよ。

A 前の戦争の時、大阪港が軍港化したため、何遍も何遍も空襲をうけてようけの人が死んだんやデ。そやから、大阪港は市民の港や、平和な商業港という声をズーッと挙げとかなあかんねん。

C ウチのお父さん大阪港で働いてんねんけど、一九五〇年に朝鮮戦争が始まって、大阪市の船が、それ起重機船やっ

たんやけど、神戸港で軍事物資の荷役に駆り出されて、ジェーン台風に遭って、船が横倒しになってエライ目に遭うたいう話してたワ。

F 今度のが、ちょうどその再現になるでしょうネ。あの当時は、アメリカの占領軍が超法規的な存在だったから、自治体の権限なんかお構いなく否応なく命令で動かしてたんですよ。

B ぼくら、組合で沖縄平和教育っていうのがあって、戦跡やら基地を見てきたんですが、米軍に思いやり予算っていうのを年間二八〇〇億円も出してんねんて。「周辺事態」っていうやつも日本のお金を出すんかなー？

G エーッ！二八〇〇億円!? 米軍のためにー！

D 奥さん、それもヒドイけど日本の防衛費かて世界で二位いうやないの。金額はなんぼいうたつけ？

B 確か四兆九千億円でしたワ。

G エーッ！ 四兆九千億！ そんなー！ 医療費もあがつてオチオチ病氣にもなれんと心配してんのにー。そういえば、防衛庁と企業の癒着が新聞に載ってるけど、私らの税金使こうて、ホンマ腹たつワー。何に使こてんの？

E 呉の海上自衛隊に今年三月に配備された輸送艦「おお

すみ」は五三〇億円。横須賀に配備された潜水艦「おやしお」は五二〇億円、佐世保に配備されたイージス護衛艦「ちようかい」は一八〇億円、浜松基地に配備されたハイトレーダーを付けたAWACSという飛行機は五七〇億円、二機買うたから一一四〇億円。ほかにももっとあねんけど、なにしろ政府寄りの軍事評論家にまで高い買物してるいうて批判されてるくらいですワ。

G そんなとこに使う前に、社会や福祉のために使こうてほしいワ。みんなホンマ困ってんねんから、ホンマ！

F おまえの話はいつも金の話になってしまふな！

G そんな言うたって、大事なことやないの！

C そうやわ。私らの税金使うて米軍の戦争の支援をしたら、私らまで加害者ということになってしまふんやからねー。それに「周辺事態」ってことになったら、国内の施設や人まで使われることになるんですやね？

F ガイドライン文書を見ると、「日本周辺における事態で日本の平和と安全に重要な影響を与える場合（これを周辺事態と言う）の協力」と規定して、自衛隊は米軍の行動に対して、情報収集、警戒監視、地雷の除去、捜索・救難、船舶の臨検など幅広い協力をすると約束したんですヨ。

ところで、ここで言う「周辺」とは、皆さんと話してもイメージがバラバラになると思うんですヨ。B君、あんた「周辺」いうたらどの辺りを思いますか？

B ウチは路地の長屋に住んでるから、通りから入って反対の道までかな。

E ウチのマンションは千戸以上ある団地になってるから、B君よりもっと広い範囲を周辺と思うなあ。

F 二人でもうマチマチでしょ。それでも平和な暮らしやからエエでしょ。

ガイドラインで言う「周辺」は、こと戦争状態のときやからね。ハッキリさせとかなあかんでしょ。ところが、この文書にはそれは書いてないんですヨ。「周辺事態とは、日本の平和と安全に重要な影響を与える事態」とだけ書いてるんで、それこそ、首相や防衛庁の誰かが、日本の平和と安全に影響ありと言ったら、中東沿岸やパナマ運河も「周辺」いうことになってしまいますがナ。

A 中東やパナマあたりまでも「周辺」てか？

B 誰にとつての「周辺」やなー？

F こんな正体不明の地域と事態に自衛隊が出動していくんですよ。さっき言った自衛隊の任務ですけど、情報収集

警戒監視、機雷の除去、搜索・救難、船舶の臨検について、政府は「後方地域の支援」やから、武力を使うことはないと言うんですけど、最近の戦争を見てみなさい。湾岸の時、海上自衛隊は中東まで行つたでしょ。後方と前線に線引きなんかできないですよ。

C こんなことは、これまで歴代政府が国民に説明して来た自衛隊の役割や安保協力と掛け離れてしまつてるんじゃないですか？ ドウ考えても、今の憲法で認められる行為とは思えないですよ。憲法を変えたい連中が進めてるんですよけど、憲法を改正して、安保条約も中身を変えないとできないことをやろうとしてるんじゃないでしょうか。

F そうなんです。下のほう、いわゆる政府担当官らの取り決めが、上にある憲法を乗っ取ってしまったんです。

国会も頼りないんですけど、とは言つても、国権の最高機関ですよ。その国会が今度の協議に指一本触れられなかったんですよ。これ、クーデターですよ。

全員 そうやなあ。

F それで、これに関連する三本の法律案を国会に掛けて来たんですけど、これからの国会審議、ちゃんと見とかナあきまへんでエ。

A その法案ちゅうの説明してくれまっか。

F 一つは、このガイドラインの基本になる「周辺事態措置法案」です。二つは自衛隊法第二〇〇条の八の「在外邦人等の輸送任務」についての改正案、三つ目が、これまで日米共同軍事演習とPKO活動だけに限っていた物品役務の相互提供に関する法律、これを略して有事ACSAというんですが、これを周辺事態にも適用できるようにする改正案です。

E そんな大事なこと、僕ら何にも知らなんだワ。今日はエエ勉強になったワ。

G お父さん、あつちこつちでこんな話してんの。家に帰ったら何にも言えへんから、横にいてる私も知らなんだワ。今日は見直したワア。

F そやなあ、難しい話やからついつい話さなんだんや。これからは私も勉強してわかりやすう話せるようにするわ。

C 今度招集される国会で、これ議論されるんですよ。労働組合も賃金や労働条件のこと大切やけど、それは平和が守られてることが前提になる思うねん。ウチの組合からも声を挙げていくようにしような。

E こりや青年部でも学習会していかなあかん思うワ。

C 女性だつて大いに関心ありよ。一緒に学習会やつたら？

F 皆さん、反応がいいですね。皆さんのような仲間が出来ていけば、政府や保守派の連中に好きにはさせない力ができるんですけどね。

E Fさん、ほくら青年部は毎年沖縄行進に参加してんけど、こないだの知事選挙で「基地のない沖縄」をめざして先頭に立っていた大田さんが、財界・経済界が推した候補に負けたんはショックですワ。それでなくてもガイドラインで基地の機能強化が言われてたんですから。沖縄の将来が心配ですワ。

F そうですね。残念な結果でしたネ。沖縄の失業率が非常に高いのが県政の責任やというキャンペーンが効いたようですね。国の政治の無策が大田不利に出たみたいで悔しいですね。これで普天間基地の代替地が県内移設となりそうです。新知事は沖縄本島北部に軍民共用空港をつくると言っていますネ。

E これは大変なことなんじゃないですか？ 沖縄戦では捨て石にされて多くの犠牲を出し、本土復帰後も米軍基地の七五%という過重な負担をさせられてきたのが沖縄で

しょう。軍民共用空港は「戦後初めて新たな巨大基地建设を認める」ことになるんじゃないんですか。

F そうなんです。明らかに沖縄の基地機能強化拡大ですわ。政府の思惑にそった県政は、近い将来、県民に見抜かれると私は思います。沖縄の人たちを信頼しましょうヨ。

A そうだす。今までかつて苦しいことなんぼでもあったんや。今度だけで判断せんと、これから沖縄連帯の運動続けなあかんで。エエか。

B そうやナア。平和な沖縄を取り返すまでがんばらなあかん。ヨーシ、これからは、もっと力いれていくぞー！

E そのためにもガイドラインのこと、もっと知つとかなあかんのとちゃうか？

D そうや、今度の国会で議論始まるんやろ？ 三つの法案のことは聞いたけど、周辺事態がエエ加減なことまではわかったけど、後の二つ、何が問題なんですか？

F 話が本題からそれてしまいましたネエ。周辺事態措置法は正体不明の地域にどんな事態かはつきりしないのに自衛隊を派遣することだけがはつきりしてるということですよ。それと第九条は、憲法九条と違いますヨ。周辺事態法のですヨ。これには次のような事が書いてあります。

「関係機関の長は、地方公共団体の長に対し、その有する権限の行使について必要な協力を求めることができる」と。

防衛庁長官が知事・市町村長に対してという意味ですよ。

C 防衛庁長官が直接協力を求めるんですか？

F さらに「国以外の者に対し、必要な協力を依頼することができ」と続くんです。これは民間企業に対してという意味です。

D 企業に対してですか？

B この、国からの協力要請をイヤヤと言うたらどうなるんですか？

F 政府は「正当な理由なく拒めば違法になる」と言っているんです。だから、拒否した自治体は制裁を覚悟せなアカンようになりますネ。また、民間企業には強力な行政指導が行なわれることは目に見えています。

C ほんなら、地方自治体の職員や民間企業の従業員は反対したくても業務命令に従わされることになるんですか？

F 港湾や空港、輸送会社や医療機関で働く人たちは、法案が成立したら、あんたの言うとおりになりますヨ。

B ヘーッ！エライこっちゃな！。

D ほんなら、その〇〇市民病院もケガした米兵が来る

かもしれないこと？

G イヤ、ナンヤ怖いワ。

E 二つ目の自衛隊法を改正するというのは？

F 今まで自衛隊が海外に出るという時は「国会」の承認事項だったんですよ。また在外邦人の救出ということで飛行機を認めてきましたが、今度は自衛艦を追加したんです。

D 自衛艦って自衛隊の船っていうことですか？

F そうです。船に載せるヘリコプターもOKで、途中で危険と思ったら武器使用が可能というんです。

全員 ヘーッ！

F 国会には事後報告ですよ。

C もう、何でもありつ、いう感じですネエ。

E 三つ目のACSAというのは？

F 今まで食料や燃料、荷役の手伝いは限られた範囲で取り決めていたんです。それが周辺事態という名でどこでも協力するということにしようというものです。

B そしたら、この三法案ちゅうのは、日本がアメリカの軍事戦略に組み込まれて、一緒に戦争するというこのための法整備いうことですよ。

F そうです。それと自衛隊の海外派兵法案ということと、

地方自治体と市民を総動員させる法案ということです。

B エライことが決められようとしているのに、その割にマスコミは静かやなあ。「ガイドライン」ってなんのこっちゃと思うてたけど、ホンマ「ウォーマニユアル」やなー。おい、なんか戦争がジワジワと迫ってきてる氣イしてきたワ。こりゃみーんなで反対していかなあかんでー。

C 私もそう思うわ。おっちゃん、今日はありがとうございます。今日はこの辺で、この続きはまたお願いします。

D ところで、おっちゃん。会った時から氣になつてんけど、なかなかエエTシャツ着てはるやん？

A これ、エエやろ。今度大阪の九条連近畿で作ったTシャツやねん。憲法九条を世界へ未来へ広げようって運動してるんや。この会場で売ってるから、あんたらも九条を広めるために協力してや。

全員 よっしゃー！

B このTシャツ着て憲法九条を広めていこー！

A (会場にむかつて) 皆さん、今日は短い時間でガイドラインのこと勉強したんですけど、こんな法律がつくられ実施されたら憲法九条がないがしろにされることがわかったと思います。アジアへの侵略で二千万人を超える犠牲者

を出した、その反省のうえに「非戦・平和主義」の平和憲法ができたんです。

日本はその国に銃を向けるのではなく、意見の違う部分は話し合いで解決していく、平和外交に徹して、共存の道を選ぶべきや、と思います。

この国会審議を十分な関心をもつて見ておきましょう。戦争につながる動きを監視して、平和を創りだすための運動を普段から進めようではありませんか。

つたないお芝居にお付き合いたいだいて、エライすんまへんでした。これからも憲法九条を世界へ未来へ伝えるため〈九条連・近畿〉に結集して共に頑張りましょう。

PEACE



憲法9条—世界へ未来へ

9条Tシャツ ロゴ

「平和・市民の会議」に参加

えらいこっちゃ、戦争前夜の状況にあるとは！ 周辺事態措置法というワケのわからん法律によって、憲法に手をつける前に自衛隊の海外派兵が可能でか！ しかも、その準備が着々と進んでるんやて！

ボヤボヤしてはおられへん、しっかりせなアカン、と痛感する集会でした。多くが語られ、たくさんのことを学びました。

元ピースおおさか事務局長、有元さんの脚本による寸劇では、新ガイドラインがウォーマニアルであり、あとは周辺事態措置法・自衛隊法の一部改正・日米間の物品役務相互提供に関する法の改正の三法案を決めれば法的にも完成することが明らかにされました。

会場からのツッコミあり、爆笑ありのうちにも、新ガイドラインが担当官の取り決めで決められてしまい、日本を戦争に巻き込む危険なものだということがよくわかりました。

また、代表委員の藤本さんは、「マケドニアにも（憲法九

条を守る会）ができた。（九条連）は、オーバービーさん呼びかけの非暴力国家をめざす世界的ネットワークづくりの担い手としてしっかりやろう」と訴えられました。

講演もシヨックな内容でした。お呼びした若国市議の田村順玄さんは、集会で上映されたビデオ『転機』（米軍基地の町イワクニの選択）にふれながら、「KILL」しか教えない軍隊（米軍）、暴行の頻発する基地の街の実態、米軍の低空飛行訓練やノーチェックの軍事物資輸送等を話され、すでに周辺事態法の地ならしが行われていて日々闘っていることを明らかにされました。弁護士の坂井さんは、法案に徴兵適齢期の若者が無関心という危険な状況を指摘しました。最後にJR西労の西村委員長は、組織犯罪対策法の危険性や家族ともども平和の取り組みを進めていることを述べられました。

会場では（九条連・近畿）のTシャツや『あごら』、（星砂の会）の人形焼きカステラも販売され、厳しい内容にもかかわらず、手作りのほのぼのとした集会でした。

（星砂の会）会員
※Tシャツは（九条連・近畿）で取り扱っています。

（TEL06・6458・4500 JR西労近畿地本内）

その後、出発の数日前に、市内の国際文化センターで「韓国・朝鮮展」があり、同時に『西便制』『ナヌムの家』の映画の上映もあるという広報が目にとまった。何度か見る機会をのがしていたので、一度見ておこうと出かけていった。

そのなかで、カン・ドッキョンさんの姿に心を奪われてしまった。お酒に酔い、歌い、踊るハルモニ、どこか寂しげで、切なげで、でも見ているうちにハルモニの強さに気づかされてしまった。

そんなハルモニを見つづけながら、これはぜひともナヌムの家に行かねばという思いを強くしていったのだ。

とうとうナヌムの家へ

八月二十三日、日曜。ソウルは朝から雨。広州のバスターミナルまで約一時間。途中から雨が少しずつ激しくなる。ターミナルについてナヌムの家に電話を入れた。

「今からタクシーで行きますが……」（坂本さんにかわつてもらおうと待っていたが切れてしまった）「大丈夫かな？ 少々不安を残して、タクシーを捜す。初老の運転手さんに聞くが、わからないという。ええー？ どうして？ しばらく行くと客待ちをしている運転手さんが声をかけてくれた。

「どこへ行くんだい」「ナヌムの家というのがあるのですが、知っていますか？」大きくうなずき「ああ、知ってるよ。乗りなさい」。ここでホツとするが、念のため「時間はどれくらいかかりですか？」「二十分くらい」「タクシーの料金はどれくらいですか？」「八千ウォンから一万ウォンくらい」。うんうん、手紙で教えてもらったのと合っていたのだ。

例によって運転手さんと話をする。「どこから来たんだい?」「どうして勉強しているんだい?」「何の仕事をしているの?」。最後に「韓国語がうまいなあー」またか……。

話しながらも、外の雨は激しくなる一方。ふと見ると数日前の大雨で川岸がえぐられているではないか。そんな悪路をとばすこと、とばすこと。こうなったら腰をすえるしかないと腹をすえて座りなおした。その直後、運転手さんが指をさして「あれだよ」。

とうとう来たのだ。「ナムムの家」へ……。が、途端に気が重くなってしまった。一体、どんな顔をしてしきいをまたげばいいんだろう。おいおい今ごろになって。そう、今ごろになってだ。しかし、玄関までわずか十メートルたらずの間にもバケツをひっくり返したような雨(カサなんて役に立たない)、そんな大雨が幸いして先ほどの気の重さが消え去り「こんにちは」。

中から、「日本の方だね。さあさあ入んなさいよ」と日本語で言われる(この人は八〇年に日本からこちらへ来たベチュンとおばあさんでした。坂本さんではない)。あれだけ高く思えたしきいを、いとも簡単にまたいでしまっていた。昼食を準備中の台所、食堂、居間のある部屋にさがり、ソファーに腰をおろしていたのだ。そして、三十分もたたないうちに、あつかましくも、昼食のテーブルに参加していた。食事のために、おばあさんがポツポツと集まって来られた。現在、おばあさんは七人、それにヘジンさんを含む六人と、計十三人が暮らしている。ただ毎日のように、ボランティア等、人の出入りが多く、特に八月十四日に記念館がオープンしてからは大勢来られているという。

昼の二時すぎ、ようやく坂本さんに会う。日本からの訪問者に説明している毎日だとか、大変忙しいようす。今まで日本からの学生さんに館内を案内されていたとか……。私も早速、案内してもらう。

記念館の入口には、昨年亡くなったキム・ハクスンさんの手の大きな写真。「私たちが強要に勝てずに

してしまった。このことを歴史に残しておかなければならない。

——金学順^{キムハクスン}——

最初は、日本軍「慰安婦」の説明、いわば導入だ。そして、すぐ地下において行くと、慰安所の再現。ここはつらく苦しい過去をイメージしているとのこと。そして、光復（独立）で一階部分へすすむ。ところが晴れるはずの過去が晴れるどころか、余計苦しくなった現状を展示している。慰安婦であった証明書、慰安所に軍が関与した資料、戦後の日本人による妄言、韓国・日本の教科書記述、水曜定期デモの紹介等々。そして、二階部分にいく途中にハルモニたちの描いた絵、そしてカン・ドッキョンさんの絵と亡くなるまで使っていた絵の道具の展示で結びになった。

坂本さんは「十四日に間に合わすために、まだまだ不十分な点があるのですが」と話されていた。確かに日本での昨年の教科書発行以後の動き等、もっともつと紹介してほしい点もあるとは思ったが、初めての慰安婦記念館としては、とてもすばらしいと思うし、同時に一人でも多くの日本人に見てもらおう必要を感じた。

その後、館の責任者の人と歴史教育について話したが、互いに
・近現代史に十分時間があてられていない（特に入試のため）

・暗記することばかりに力点がおかれている

という反省では一致した。さらに、韓国ではこういう問題は学校で習う以前に社会全体で取り上げるの



日本軍「慰安婦」歴史館入口

で、特別に教えることはないらしい。

結局、泊まっていけというのを振り切って、夕方に「ナムムの家」を後にした。次回は、ゆつくり過
ごしてみようと思う。そして、おばあさんたちと自然に話ができるまで待とうと考えている。

水曜定期行動に参加

八月二十六日午前十一時四十分、「ナムムの家」のライトバンが
日本大使館前に到着した。老齢のおばあさんのため、シートが敷
かれそこに座る。しばらくすると、戦闘警察官（ほとんどが若者
だ。韓国では徴兵制があり、これも任務の一つ）の一団が大使館
前の正門に陣取る。十二時のスタートの頃には、四、五十人の人
数にふくれあがり、狭い道の半分ぐらいを占領していた。

へみんなで叫ぼう

一、日本政府はマクドゥーガル報告書を即刻人権と国際法に基づき賠償せよ！

一、日本政府は真相を究明し責任者を捜し出せ！

一、韓国政府は日本政府に謝罪と法的賠償を強力に要求せよ！

一、韓国政府は自主外交を実現し、日本軍慰安婦問題に積極的に対処せよ！

集会の途中、昼食でも食べに出かけるのか、大使館から六人の
役人（全員男性）が歩いて現われる。こちら側を一顧だにしない



第327回水曜定期行動（1998年8月26日）

でスタスタと通り過ぎていった。それも縦一列になって。集会とはいえば、金大統領への手紙の朗読にうつり、笑いが起こっていた。その途端、何かホツとするものがあつた。すごく必死でいて、それでいてこの行動を楽しんでいるといえ言ひ過ぎかも……。そういえば亡くなったカン・ドッキョンさんが言っていた。「最後の一人になつても抵抗するぞおー!」。

ボタンのかけ違いは、いつまで続くのか?

ところで、この定期行動はいつ始まったのだろうか? 記念館の資料によると、九二年一月八日の水曜日だそう。そして、この日八月二十六日で、三百二十七回目という。

この行動を一回だけ中止したことがあつたのだということを聞いて「何で?」と思ったが、その日が九五年一月十八日と聞いて、すごく驚かされてしまった。あの、思い出しても恐怖を感じる大地震の翌日なのだ。誰が中止しようと言ひ出したのかは知らないが、おばあさんたちが同意されたのですね。

私は驚いたと同時に、「女性のためのアジア平和国民基金」(九五年八月十五日各新聞に発表)でこの問題を解決しようとしている日本政府の姿勢との、あまりにも大きな落差に呆然としてしまったのだ。

『従軍慰安婦』をつくりだしたのは過去の日本の国家です。しかし、日本という国は決して政府だけのものではなく、国民一人一人が過去を引き継ぎ、現在を生き、未来を創っていくものでしょう。(九五年八月十五日の朝日新聞からの抜粋)

私が一番ひっかつたのはこの文章だ。ここには、二つの問題をはらんでいる。

①いとも簡単に、戦争責任について国・政府が逃げていること。日本国憲法の前文(政府の行為によつ

て再び戦争の惨禍が起こることのないように……」を肝に銘ずるべき。

②確かに、この文はそのまま読めば「ウンもつともだ」となるが、ただ、国民のうちどれくらいの人が「過去を引き継ぐ」ことを教えられ、自分のものとしているのか？ 閣僚の妄言を待つまでもないと思うが……。

そして、そんな現状の日本政府が、言い換えれば、相手の思いを聞こうともしない人びとが「国民基金」について話したりすることが、どう考えても相手を侮辱することではかかないと、どうして気づかないのだろうか。

今回、「ナヌムの家」に行き、さらに水曜定期行動に参加できていろいろなことを教えられた。とりわけ、人間の強^{したた}かさ、やさしさみたいなのを改めて考えることができた。『ナヌムの家』の映画を見て、カン・ドッキョンおばあさんの強さを感じたと書いたが、実は、相手をどこまで思いやれるのか、その裏返しだったのだ。自分たちは、言うに言えないひどい目にあったのに、そのことはかりではなく、違った状態でのひどい目にあった人にも、思いを馳せることができたということ。本当の意味の強さって、こういうことなのですね。

(一九九八・九・二二)

※宝塚第一中学校の本田先生は、九七年四月に三年生(当時)に「従軍慰安婦を教科書に」をどう思うか書いてもらった作文を『あこら』編集部に送ってくださいました。それを掲載した230号『なぜ今「自賛史観」かⅢ』(九七年六月)をご記憶の方も多いと思います。その後、授業を通じて感じたことを再び書いてもらった作文とともに、「ナヌムの家」訪問記が送られてきました。遅くなりましたが、作文の一部をご紹介します。

(編集部)

〔中学生をなめたらあかん〕

九七年度の中学校の歴史教科書（七社）のすべてに慰安婦の記述が登場しました。ところが、目の目を見たその日から、「自由主義史観」を唱える人びとが文部大臣に記述の削除を迫り、地方議会でも削除の請願要求が出されていくのです。一体、この国はどうなっているのでしょうか!? 自分たちののでかしたことをまっとうに反省し、悔い改めるというただそれだけのこともできないのでしょうか!?

◆私は、前の時教えないって書いたけど、授業で勉強してからホントの事実を教えた方がいいと思った。日本はすごくひどいコトしてたし、かくしてたら元従軍慰安婦の人に失礼だと思う。かくされるよりは事実をはつきり言っしてほしい。むずかしいから理解できないかもしれないけど、ちゃんと聞きたい。私たちにとっても人事ではないと思う。私たちも日本人やし。元従軍慰安婦の人たちにとっては過去のことですまされるコトじゃない。日本という国はひきょうだと思う。めちゃくちゃヒドイこととしておいて、しかもそれをかくすなんて……。私は授業を聞いて考え方がすごく変わりました。

（女）

◆四月初旬と今回は同様に、教科書に載せることは賛成です。教科書に載せるなどというのは、子どもたちに従軍慰安婦について教育するなということと、最終的にはこの一つの歴史を否定しているのだと、僕は思います。思想の自由は憲法で守られていますから、どう考えようと勝手ですが、真実をねじまげるようなことをしてほしくない。

（男）



報告

新工業国と呼ばれてゆくアジアの女性たち

サンディ・サカモト

はじめに

一九九八年の春、私はマレーシアへ二度目の旅に出かけた。それは女性工場労働者、女性農園労働者、スクワター（無断借地人）の状況を知るためであった。一年前、女性たちがどのような活動をしているかを知るためにマレーシアを訪問したとき、さまざまな女性団体を訪問して、女性たちがどのような問題に直面し、女性たちの支援のためにどのような活動をしているのかを調査した。今回はさらに深く社会の底辺で生活する女性たちと話し、実際に住んでいる場所、働いている場所を訪ねて状況を学んできた。

私は、フィリピンには何回も訪問し、スラム、農村、工場の女性たちの状況を体験してきたが、彼女たちは経済的にも貧しいにもかかわらず、女性たちの運動で成功をおさめてきた。一般的には、マレーシア、タイ、台湾などは新工業国であり、フィリピンと違って人々の暮らしが比較的良好と宣伝されているが、開発問題やグローバリゼーション（市場経済の地球規模化）のことを考えると、そのような言葉を簡単に信じるわけにはいかず、事実をこの目で確かめたいと思ったのだ。

仮設住宅に住む女性たち



フィリピンを訪問したとき、七〇%以上の人々が土地をもたない農民で貧しく、都市では多くの人がスラム地帯にしかたなく住んでいることを学んだ。また、地方にも都市にも日本や欧米諸国が計画している開発の波が押し寄せて、強制立ち退きの犠牲になっていることも学んだ。農地を追い出されて、都市のスラムに住んでも、また立ち退きの犠牲になることも少なくない。何の補償もなく追い出される場合も多いが、たとえ住居を与えられても町から遠いため、仕事も学校もなく、しかたなく元の所へ戻る場合も多い。

フィリピンでは女性労働者の状況も厳しい。ほとんどが契約労働者と呼ばれ、六か月間しか続けて仕事を続けることができず、生活の保証もない。輸出加工区で働く大多数の女性労働者たちもこのような厳しい労働条件の下で働いている。このような加工区には欧米諸国、日本、台湾、香港などの会社が多い。とりわけ日本企業の数が多い。フィリピンの女性の厳しい生活を見ると、欧米、日本の人びとの経済的に楽な、物を無駄にした生活の矛盾を考えざるを得ない。

マレーシアの都市開拓者

それではマレーシアはどうであろうか？ フィリピンのスラム地帯のように、どこにでも都市開拓者（アーバンバイオニア）と呼ばれる人々が住んでいる。しかし、政府は彼らを「スクワター」——つまり無断借地人と呼んで強制立ち退きの対象にしている。政府は都市労働者確保のために、一九七〇年代には農村の人々を都市に呼び、私有地の確保を約

強制立ち退きをせまられている地域の一部には
すでにコンドミニウムが建てられている



束したにもかかわらず、その約束はついに果たせないまま、今度は開発のために人びとを追いつき出しかかっている。

マレーシアには現在百か所ものゴルフ場があるが、二〇〇〇年までにさらに二百か所ものゴルフ場をつくる予定だという(Eviction Watch Asia)。それは、日本人や世界の金持ちが週末を利用して楽しむためのものだ。しかし、多くの貧しいマレーシアの人々は、そのために強制立ち退きの危機に直面している。

普通、立ち退きの告知は一週間など短期間内に行い、住民が反対運動を起こせないようにする。また、当初、工業と住居の両方をつくるなどと言って、結局、工場地帯しかつからない場合も多い。おもしろいのは、彼らが住んでいる場所はスラムではないということだ。一般的に、政府の言うように彼らがスクワターだとすると、水道も電気もない汚い場に住む人々を想像する人も多いかもしれないが、彼らの住んでいる場所には電気も水も電話も花もあるのだ。

最初、都市開拓者組織のある女性リーダーを紹介されたが、忙しくて案内している時間がないということで、その女性の夫を紹介された。そこで、クワラルンプールの中でもっともよくできているマレー人の都市開拓者地域に案内された。驚いたことに、そこには欧米の中流家庭の人々が住んでいるような大きな家が建っていたのだ。リビングだけでも日本のマンションの2LDKくらいのサイズはあった。もちろん、水、電気、電話もあり、住み心地は快適に見えた。私は「日本でこんな大き

な家に住める人はほとんどいない」と言って笑った。家の所有者はその大きな家を自慢げに語った。「わしらが来たときは、政府が都市に出て来ることを奨励していた時期で、ここに来た者は好きなだけ土地を使った。家も大きければ大きいほどいいとみんな思っていた。わしらは森林を自分たちの手で切り開いて、家も自分たちで建てたんだ。政府がやってくれたことは何も無い。水道や電気だけでなく、電話をつけたり、学校も自分たちで作ったんだ」「この土地を買う金くらいある。けど、政府が土地を売ってくれないんだ」と語った。なんと今ではこの地域を開発するということで立ち退きを迫られているという。すでに幾ばくかのお金をもらって引越した人たちもいる。しかし、この大きな家の所有者は、ここを森林から人が住めるまでにやっとしたのに、それを諦める気にはならないという。選挙の前に議員が来て、票を集めるために何らかの約束をしたあと、道路に電灯をつけたり、道路をアスファルトにしたりしてはいたが、それは彼ら自身がやったことに比べれば微々たるものだ。そういう意味でも、彼らは自給自足の生活を営んでいたのだ。

マレーシアのこのような地域がスラムではないことは、去年マレーシアを訪問してNGOの人々に聞いて知識としては知っていたが、みんながこんなにリッチに生活しているとは信じられず、案内者に聞いた。すると彼は、「こんなに成功した例は数件しかない」と言い出した。私は、そうならそうと、もつと普通の地域に連れていってくれたらよかったのにとイライラしてきたが、我慢しながら、マレーシアの良いイメージを外国人にもってもらうために連れてきたのかと考え、「今度もつと普通の所に連れて行って」と頼んだ。

それから一週間後、彼は自分が独身時代住んでいたというペリンチ村に案内してくれた。そこでは一か所にゴミがたくさん捨てられてあって、ニワトリとひよこがそこで餌をさがしているようすから、普

通の開拓地に見えた。元農園だったらしい場所にたくさんの方が自前で建てられている。彼が以前住んでいた近所の家族に紹介してくれた。その地域の人びとも立ち退きを迫られているが出る気はないという。

その女性たちはマレー人で、英語は話せないため、彼に通訳を頼むはずであったが、集まった女性たちといつまでも勝手に話している。つもある話もあるかと思はく黙つてわからない会話を聞いていた。それは、女性たちが話すというよりはこの案内役の男性がスピーチしているようでもあった。イスラム教徒マレー人男性のマツチョ性を感じながら笑うわけにも、怒るわけにもいかず黙っていた。二十分位してやっと、彼が「この女性たちに聞くことはある？」などと笑いながら聞いてきた。私は「当たり前じゃないか!」と思ひながら、生活についての質問などをした。しかし、女性たちが答えてくれたのをすぐ通訳せずにそれに対して自分の意見を言つたりして、自分たちで勝手に話しているような形になっていたことに非常に不満を感じながら質問を続けた。二十代から六十代の四人の女性と話したが、二十代の女性が病院のアシスタントをしているほかは専業主婦であつた。以前していた仕事について聞いたが、金持ちのための洗濯をしたり、工場、ゴム農園などで働いていたという。二人の女性の夫はすでに死んでおり、生活は厳しい状況だという。一人は働きたいが子どもが五人もいるため、働きに出られないという。私が、日本では五人も子どものいる人は少ないと答えると、男性が「なぜ、子どもが少ないのか?」などと聞いてきた。私が、生活費が高すぎて育てられないとか女性が産みたがらないとか話しているとき、日本の女性の経済的地位の低さをあげ、働いている女性は多いがまだ女性が家庭にいるべきという考えがまだ強いと言うと、彼が「だから日本経済は発展したんだから、女性は家にいたほうが良いんだ」などと、私の女性支援の意見とまったく反対の意見をまくしたてた。私は自分が女性たちと

話しているのかこの男性と話しているのかわからなくなり、がつくりきってしまった。最後のほうで、マレー人男性との結婚について訪ねると、一人の四十代くらいの女性が「モスLEM宗教のため価値観が同じだから問題ない」という。彼が、「夫と妻の役割が決まっているから」とつけ加えた。夫による妻への暴力はないかと言うとその女性は「ない」と答えた。私はそこで、「そんなはずはない。やはり、モスLEMの男性がいるからこう答えるのか」と思い、またもやがっかりした。この男性は私たちの女性の会話に介入し内容まで変えてしまったのだ。

その後、みんなでそのあたりを案内してくれた。その中で一番若い二十代の女性がとても親切で、英語も少しできるので直接話することができた。住居から少し離れたみんなで使う井戸のシャワーなどを見せてくれた。その地域に高級マンションをつくる予定で、彼女たちも立ち退きを迫られているが反対しているという。そのあたりの一部はすでに工事中で、道路がめちゃくちゃになっていた。穴があいている所に小さな橋が斜めにかかっていた。彼女は慣れたもので簡単に渡れるらしいが、滑るサンダルを履いていた私が恐ろしそうになると、すぐにニコニコしながら手をかしてくれた。彼女の温かみを感じてうれしくなった。帰りに、その村の道路ぞいに大きな溝があり、案内役の男性は渡るのを助けてくれようとした。私は当然手を握ってくれるものと思ったが、彼は私の手を触れないように手首をつかんだので、バランスがとれず、不安に思いながら、溝を渡ったのだった。それもイスラム教のいう男女の掟だったのかもしれない。イスラム教の場合、信者とそうでない者とははっきり区別されるから私はまさによそのものだったのかもしれない。私が準備もしてないのに、急に彼がここに今日泊まっていく？ などと聞くのだった。その日も暑くて、汗だくの私は着替えがないので遠慮した。

都市開拓者組織の要求は、主に四つあるという。①移転先は住人の同意がなくてはならない。②スク

ワターを都市開拓者として合法化し、基本的必要物資を提供せよ。③都市開拓者の人権、所有権、土地の権利を保証せよ。④強制立ち退きや住居破壊を合法化する法律をなくせ。

このような要求を求めて支援団体が活動しているが、どの要求もまだ受け入れられていない。

女性労働者の状況

一般に、雇用主は中国系やインド系マレーシア人よりマレー人を優遇する。過去二十年間、インド系マレーシア人の生活水準は落ちたという。それはインド系の政治家は数が少ないためか、インド系の政治家もマレー系の政治家寄りやインド系マレー人のために何もしてくれないという。そのため、麻薬や教育問題に一番影響されているのがインド人だそうだ。

〈スハバットワニタ〉という女性労働者組織のリーダーの一人が言った。

「今までマレーシアの人口は国土に比べて少なかったので、経済的にも潤って見えたとし、仕事も十分あった。だけど、最近の経済危機で、人々は政府があまりにも多額の借金を国際機関にしていることに気がつき批判し始めているの。現在では、建設事業は経済的にも限界にきている」。

マレーシアを見るとどこもかしこもビルや電車の建設中だが、金不足で途中でストップすることもまれではない。エレクトロニクスはまだそれほど影響を受けておらず、女性労働者は仕事を続けていられる。政府は外国からのローンづけになっているという。それで、大気汚染や環境汚染も無視された開発に至る所で起こっている。森林火災は止まるところを知らず、飲み水は汚染され続けているという。水道に油が浮いていたことさえあるという。

また彼女は言った。「過去二十年間、人々は何らかの経済的豊かさを経験してきたし、一世代で金持ち

になった例もたくさんある。しかし、ゴムやヤシの農園もどんどん消えていく。一九八四、五年まではまだ都会に來ても戻れる所が地方にあったが、今では戻れる所はない。一九八七年までに、消費文化がマレーシア社会に広がり、それによって起こる社会問題にも気がつく人々も出てきた。

去年から、女性労働者も経済危機の影響で残業がほとんどなくなった。テキスタイルの仕事は減り、賃金も減った。しかしその中でも外国人労働者をもっとも影響を受けた。

マレーシアには、多国籍企業が操業している輸出加工区がたくさんあるが、その中の日本企業の一つ、電子マルワでは五百人の労働者が働いている。そのほとんどが女性である。電子マルワという名前を聞いたことはなかったが、ソニーの子会社だと聞いて納得がいった。五百人のうち三十六人が契約労働者で、あとは正式の社員だという。若い女性労働者が大多数だが、七十人は中年の女性。平均給与は月曜から金曜まで働いて一か月四百リンゲ（約一万四千円）で、残業しなければ生活できないくらい低い給与だという。残業をすれば、平均給与が一か月六百から八百リンゲ（二万一千円から二万八千円）になる。家族の中に働いている人が二人いれば千から千六百リンゲくらいになり、やっと生活できるという。労働者の給与があまりにも低いため、残業するのが当たり前になっており、労働者も残業を自らするようになっていく。ここも同様だが、輸出加工区の労働は単純労働で、部品を一つの機械に組み立てるというもので技術は学べない。

電子マルワで働いている女性労働者の一人が、彼女の仕事は一日中



電子マルワ工場の前を歩く女性労働者

座って仕事をするので、まるで刑務所にいるみたいだという。仕事で目はかすむ。多くは賃金が安いので六時から九時まで残業をするそうだ。彼女が自分の日本人の上司のことを「なぜ日本人の男の人は冷たいの?」と聞いてきた。私は「会社でそういう教育を受けるからではないかしら」と答えてから、そういうサラリーマンタイプの日本人男性は嫌い、と言うとニコリと笑った。人口が少ないため、四十歳以上になっても工場の仕事は見つかる。教育レベルも問題にならないし、難しい試験もないという。しかし、労働組合はない。

以前、彼女が日本の別の会社、スミダで働いていたとき、近くの会社の労働者がストをしていたので、スミダの会社側が心配して、労働者にストを見せないように工場のカーテンを閉めたという。スミダではセクハラなどの問題もあったという。

特に、インド系女性には文化的制限があり、女性が会合などにも出られないことが多い。出るには両親にうそをついて出るしかない。私が「男性は?」と聞くと笑って、「男性は結婚していろいろがしているが、自由よ」と女性オーガナイザーが言った。インド系の女性はきちんと働いても給与を父親や夫にすべてあずける場合が多く、銀行からお金を引きだしたこともない女性もいる。元メイドをしていたインド系女性が言った。「夫にお金をあずけたら大変よ。自分のために使ってしまうもの」「父親も夫も同じ男、私の娘には男に頼らないように生きてもらいたいわ」と男性で苦勞した経験を語ってくれた。

一週間後、電子マルワ工場の女性労働者たちに会いに行った。そこで会ったのは、目のきらきら輝くエネルギーな若い女性たちであった。以前、その一人が「日本から女性が来るといえば、みんな興味しんしんで集まってくるわ」と言っていたが、そのとおりだった。私の周りに三十数人の女性たちが集まってきたのだ。数人がマレー系、あとは全員がインド系の女性たちであった。以前会ったときは私

が英語を使っていたためか、おとなしくしていた女性が、工場では大声を張り上げ、自信ありげに、低いしつかりした声でみんなに集まるように言ったり、質問するように自分の言葉で話しかけた。私は彼女の強い声の響きに感動していた。

結婚して子どもがいる若い女性が多かったが、とても問題を肯定的に考える女性たちであるような印象を受けた。私が夫との関係について聞くと、ほとんどが「夫が威張っている」とか「夫に生活がコントロールされている」と言って、結婚し、子どもを持ちながら働くことの難しさを強調しているようであった。彼らが日本人男性の態度について聞いたので、社会や会社に訓練され、男性は威張るようになると言うと的を得たように笑った。日本から来た私が日本人男性の批判をしたのでおもしろかったらしく、今度は日本の女性の状況について聞いてきた。

その中の一人の女性の弟が大阪にあるパナソニックで働いていると言い、好意を見せてきた。その女性は夫とはうまくいっていると言って満足そうだったが、日本の女性たちの多くがパートで働いていることを話すと、もう一人のインド系女性が日本の女性労働者の状況も大変なのね、と言わんばかりに、「マレーシアの女性の方が幸せかしら」と言って笑った。今まで、経済大国日本の女性の状況はさぞかしよいだろうと思っていたのに、意外にも、パートや契約労働が多い事実を聞いて驚いたようであった。

移民労働者と企業

マレーシアには多数の移民労働者がいる。彼らはインドネシア、バングラデシュ、フィリピン、タイ、インドなどから来ている。男性が圧倒的に多い。約三百万人と言われているが、そのうち百二十万人は不法就労者だという。全体のうち女性は百二十五万人で、彼女たちは、フィリピン、インドネシア、バ

ングラデシユ、パキスタンから来ている。二か国の政策により、ほとんどのフィリピン、バングラデシユ、パキスタンから来ている女性たちはビザをもっている。フィリピン、インドネシア人女性はメイド、レストラン、リゾート関係、清掃、ホテルなどのサービス業で働いている。工場で働いている女性たちはインドネシア、パキスタン、バングラデシユ人が多い。

女性組織〈テナガニタ〉の調査によると、マレーシアの雇用主はインドネシア、フィリピン人女性メイドに不当な労働を押しつけ、人間としての権利を侵害していることが多いという。たとえば、労働時間が決められていない／休暇がない／多くの女性たちが一人の雇用主のために家と工場・レストラン・事務所など二か所で働かされている。あるいは雇用主の友人宅で働かされることもあるという／雇用主に書類をとられる。条件や内容で契約違反・給与をさしとめられる／定期的に妊娠テストやエイズテストをさせられる。もしプラスであれば直ちに強制送還になる。

その多くの女性たちは不当な扱いを受けたり、性暴力を受けたりしていることも多いが、そのいくつかの例を〈テナガニタ〉の最近の資料で見よう。

a あるインドネシア女性は医師の家でメイドとして働いていたが、その息子に数回レイプされ、妊娠し、出産した。彼女は医師にも何度も暴力を振るわれていた。彼女の旅行書類は違法にも関わらず、医師にとられ、給料も払われずにいた。また休暇を一切与えられず、一日中こき使われていたという。〈テナガニタ〉の法的支援によってある程度問題にはなったものの、レイプは証拠がないということで認められなかった。結局、不払い賃金も払われることなく、子どもの父親としての養育義務も問うことができなかった。子どもは養子としてもらわれ、この女性は他の雇い主を見つけ、そこで働くことになった。

b 一人のフィリピン女性が、正式にメイドとしてマレーシアのクロアチア大使のもとで働いていた。

彼女は鋭い刃物で脅され、この大使に四回もレイプされた。彼女は弁護士を通してこの大使を訴えたが、この大使は自国に戻され、現地の警察は不十分な証拠しか発見できなかったため、このケースはこれで終わりだという決定が下された。彼女の体をチェックした病院は、その結果を彼女に渡さなかった。彼女のビザももうすぐ切れ、仕事もないまま途方にくれているという。彼女は尊厳を取り戻そうとしただけなのに。

c メイドとして働いていたあるフィリピン人女性がカナダのWHO高官にレイプされた。さまざまな支援団体からの抗議にもかかわらず、彼は他の国に移転になっただけだった。

〈テナガニタ〉は、一九九四年から九五年の間に、二十五人のフィリピン人女性のケースを扱った。彼女たちは「良い仕事が見つかる」とだまされてマレーシアに連れてこられ、麻薬を注射され、強制的に売春をさせられていた。彼女たちは何回もレイプされ、食事を与えられず、病気にさえなっていた。問題はこれが公になったとき、この犯罪は女性たちの意志を無視されて行われたにもかかわらず、レイプとしてみなされることはなかった。容疑者は無罪を主張し、最後に無罪になった。マレーシアでは、麻薬保持者は死刑という重い刑を受けるにもかかわらず、レイプは最高でも五年間の刑のみで、無罪になる者も多い。女性の権利が確立されていないことがうかがえるという。

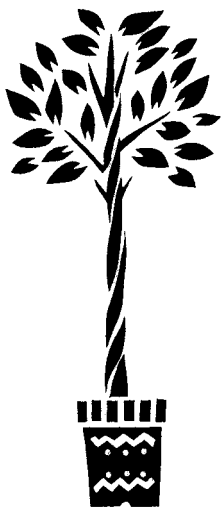
さまざまな虐待を受けているにもかかわらず、メイドはなかなか法的処置をとることができない。彼女たちは移民女性労働者であるためか、不当な扱いを受けても一切人間的に扱われることはなく、泣き寝入りに終わることも少なくない。〈テナガニタ〉が必死に支援活動をしているが、同じようなケースが後をたたない。

労働者として働く移民女性も楽ではない。例えば、あるパキスタン女性は、エレクトリック・チップ

工場で働いていたが、賃金は契約より安く、口での虐待、もし目標だけ生産できない場合は停職になることもあると言われた。この会社で正式に申し立てをすると、工場側が女性寮に男性を送り、六人の女性に対して殴る蹴るの暴力をふるった。女性たちは解雇されたという。

三年前までは、正式なビザをもっていなくても、仕事をたやすく見つけられた。しかし、経済状態が変わり、今やマレーシア人でも仕事を失ったりしている。今まで、一世代で金持ちになったりしたこともあったが、それは今では愚かな夢と化しているという。欧米を中心としたグローバルイゼーションによって、アジア経済は破壊されつつあるというのだ。一般のマレーシア人がこのように不平や将来の不安をもつようになったという。そのような状況の中で、多国籍企業は現地労働者よりも、移民労働者を雇うというケースが出てきたが、それは現地労働者は給与の値上げを要求したりするが、移民労働者の場合、立場が弱く、低賃金のまま雇っていられるからだ。労働許可を持っている移民労働者は正式には一つの雇い主に解雇されたら、次の雇い主を探すことはできないので、立場を要求する可能性が低い。彼らは建設労働者、輸出加工区、サービスセクター、農園などで働いているが、国籍の違いによって給与が違ふ。例えば、フィリピン人は五百（約一万七千五百円）リンゲもらってるのに、インドネシア人は三百五十リンゲしかもらえないことしばしばだ。

（以下、次号に続く）



北京から五年——女性2000年会議はニューヨークで

「女性2000年会議・21世紀に向けての平等・開発・平和」は、2000年6月5日(月)～9日(金)、ニューヨークの国連本部で、国連総会の特別会期として開かれます。会議の目的は、「女性の地位向上のためのナイロビ将来戦略」の実施状況及び「北京行動綱領」採択五年後の実施状況を検討・評価するとともに、さらなる行動とイニシアティブを検討すること。行動綱領実施の際に直面する障害及びその克服のための戦略に焦点が当てられます。

会議の事務局は〈国連女性の地位向上部(DAW)〉が務め、会議への準備作業は〈国連女性の地位委員会(CSW)〉が第43回(1999年)、第44回(2000年)会期を五日ずつ延長して行い、会議の性格、規模、議題等を検討します。また、世界の五地域で会議の準備としての地域会合の開催が予定されています(ESCAP地域会議は今年10月

バンコクで開催予定)。

各国には国連が作成した「北京行動綱領の実施状況に関する質問状」への回答を今年4月末までに提出することが要請されています。日本政府の回答についての国内向け報告会は、5月に〈女性2000年会議日本国内委員会有志者部会〉の主催で開催される予定です。

国連女性の地位委員会に〈あざろ〉からも参加

「女性2000年会議」の内容その他を細かく討論する第43回〈国連女性の地位委員会(CSW)〉は、今年3月1日から19日までニューヨーク国連本部で開催されますが、CSWから〈あざろ〉に招待状が来ましたので、東京の小川椒子さんとニューヨークの今野望さんが、オブザーバーとして参加します。

小川さんと今野さんによる最新リポートとNGOに関する情報は、4月号にはお届けできる予定です。

今年も3月3日に女のゼネスト

「日本中の女性たち、一斉に仕事（有給・無給）を休もう！」と1997年にスタートし、大旋風を巻き起こした女のゼネスト。第三回を、今年も3月3日に行われます。

全国統一テーマは

①「男女共同参画社会基本法」を実効力あるものにしよう！

②男女平等条例をつくろう！

③女性議員を増やそう！

また、行動メニューとして

①仕事や家事を休み、休み方・反響をFAX045・98

3・4969に報告する

②何かピンク（テーマカラー）のものを身につけて参加の

意志表示をする

③街頭リレー・トーク、シンポジウムに参加する

の三点が掲げられています。

首都圏では15～16時、渋谷区ハチ公前でリレー・トーク

「異議あり！女性議員4・6％」——各党女性議員と統一
地方選立候補者大集合。18時15分～20時45分、東京ウィメ

ンスプラザホールでシンポジウム「男女共同参画基本法案

——これで男女平等は実現するの？」を行います。コーディ

ネーター樋口恵子、基調報告京藤誠（弁護士）、パネリスト各

政党代表。参加費は千円。連絡先はTEL&FAX046

7・31・6858（渡辺光子）、シンポジウム参加費やカ

ンパは郵便振替00230・9・33911（山崎久民）へ。

全国各地の実行委員会の連絡先（TEL&FAX）は

新潟025・231・3188／富山0766・23・1

054／奈良0742・47・5672／大阪06・63

19・3351／姫路0792・95・7115／岡山0

86・943・1318／高松0878・62・4513／

山口0827・75・2165／北九州093・541・

5805。全国事務局は045・983・4969。

どうなる新ガイドライン関連法案—— 自由連立内閣成立

1月14日、自由連立内閣がついに発足、19日からの通常国会で「周辺事態法案」をはじめとする新ガイドライン関連法案の成立を狙っている。自由党からは野田毅自治大臣が入閣しただけで小沢一郎党首は入閣しな

かったが、「憲法調査委員会」設置への姿勢やPKF凍結解除で自身が一致したことなど、改憲と軍備強化への動きは着々と進んでいる。公明党や民主党を巻き込む動きも本格化し、予断を許さない。市民運動・平和運動側は2月に集中的に反対行動を行い、法案成立を断固阻止する構え。

「春一番！ 新ガイドライン関連法案を吹き飛ばせ！」

2・14戦争協力を許さないといひ

2月14日（日）東京・日比谷公会堂で行なわれるこの集会では、沖縄をはじめ全国各地の基地反対・平和運動の報告のあと、デモ行進が行なわれる。時間は13時～15時半、参加費は前売五百円、当日六百円。連絡先は沖縄・一坪反戦地主関東ブロック（090・3910・4140）、憲法生かす会（03・3220・8765）、全国FAX通信（03・5275・5989）。

浜松では「NO/AWACS」全国集会

新ガイドライン（日米防衛協力の指針）による周辺事態

法が論議されるなか、1999年2月頃浜松基地にAWACS（エーワックス・空中警戒管制機）が98年3月の配備につづき、さらに二機配備されようとしている。

AWACSは空飛ぶ司令塔とよばれる警戒と指揮をなう軍用機で、一機五百七十億円もする。全部で四機配備されることになり、2000年には実戦に使われようとしている。空の戦闘指揮所にもなるAWACSの警戒活動から戦争が始まることもある。

〈NO/AWACSの会〉を中心とする浜松の平和運動・市民運動団体は、新ガイドライン・日米共同作戦の要であるAWACS導入に反対し、昨年3月の全国集会とデモに引き続いて今年2月28日、全国集会をもつ。

〔全国行動スケジュール〕

- ①浜松基地抗議行動（申し入れ） 11時～浜松基地正門前
- ②全国市民集会 13時～浜松市福祉文化会館2階（浜松駅北口から西へ1キロ）
- ③浜松市街デモ 15時半～16時予定（集会会場から駅近くの公園まで）

◆連絡先はFAX053・4222・4810（NO/AWACSの会） 前日からの宿泊も受け付け中。

横須賀市長が「周辺事態法案は必要」と発言

昨年11月25日の横須賀市議会本会議で、沢田秀男市長は共産党の根岸峰夫議員の質問に答えて「周辺事態法案は必要」と発言。「周辺事態が発生して米軍が出動する際、日本は避難民の受け入れなど、さまざまな面での後方支援が求められている。これは人道に必要な協力であり、もし協力しなければ日本は国際社会における信頼を失うことになる」と発言した。米艦船の母港である米軍基地を抱える自治体の首長として見過ごせない、〈非核市民宣言運動・ヨコスカ〉は発言の撤回を求めて要請運動を始めた。連絡先はTEL&FAX 0468・25・0157。

問題山積 新学習指導要領

五年ごとの見直しで小・中学校はすでに発行されたが、従来の「道徳」の内容が各科目に分散してはめこまれ、「心」を強調する内容。家庭科では「合成洗剤には踏み込まない」と、わざわざ注意するなど、概観するだけでも多くの問題

点が見られる。〈国際婦人年連絡会〉の教育・マスコミ部会では、一月に出される高校の部も含めて内容を点検する作業を始めた。結果は文部大臣に申し入れる。毎月第二火曜午後が定例日。参加ご希望の方は、〈あこら〉事務局(03・3354・3941)までご連絡を。地方の方は、FAXで気がついたことを送ってください(03・3354・9014)。なお、新学習指導要領は、小学校二百四十円、中学校二百六十円。各地の官公庁刊行物販売所で発売中。

日本生物物理学会長に郷道子さん

会員三千五百人、女性はその一割にすぎない学会のトップに、DNAの研究で世界のトップクラスに立つ名大教授、郷道子さんが選ばれた。物理学会会長になった米沢富美子さんに次ぐ快挙。ただし名大理学部五十四人の教授中、女性には郷さんただ一人。

女性立候補者に資金援助を

アメリカのエミリーズ・リストに学んで、自民党から共

産党 無所属まで、「専門分野を持つ有能な女性」に選挙資金を贈り、各党に女性議員を増やそうという呼びかけは、大きな関心を招き、12月28日、東京都心での初顔合わせ会には、暮れも押し詰まった時期の夕食前というのに、各界の超多忙な女性三十名が集まった。

「今の政情に怒り狂っている。女性の手で何とか情況を変えていきたいと、この企画を立てた」

「アメリカのエミリーズ・リストではへとにかく絶対に勝てる人」を条件にしているのです、この会も、仮称〈WIN・WIN（勝つー勝つー）でスタートしたい」

「反響が大きく、森英恵さんはじめ六十七人が賛同者、八人が会員に。秋山ちえ子さんはさつそく三十万円も贈ってください」

など、呼びかけ人の赤松良子さんや下村満子さんから報告があり、質疑に移った。

「会費が一人一万円では少なすぎる。十万円にしよう」

「それは主婦の感覚には合わない」

「有能な」女性よりも「志のある」女性に援助を」

「せめて憲法九条、核廃絶程度のしほりをかけたい」

「政党推薦者は政党からお金が出る。それ以外の人を」

「市川房枝さんは『お金を使わない選挙』を貫かれた。お金よりもその精神を大切にしたい」

「今年は統一地方選。まず地方議員に援助してほしい」

「少なくとも二世議員はリストに入れないことにしたい」

等々、活発な意見が相次いだ。が、「憲法九条……」には、「核廃絶ならいいけど、九条はどうも……」と、会場のあちこちでささやく声。

「有能な」よりも……」には、「枝葉末節の話はしないでほしい」と呼びかけ人側。「地方選……」は「首長ならいいが」といった回答。

代表・赤松良子、副代表・大河原愛子（株）ジェシーフーズ社長、事務局・浦辺和子（税理士）の三氏の名前のみ発表されて、あとは「時間をかけて組織づくりを」「案内状を出す人の名簿を至急送ってほしい」という話で開きに。

秒という時間が惜しい中、期待をこめて駆けつけただけに、「広く会議を興し」という姿勢がみられなかったのは残念だった。私は入会を保留し、今後の会議にできるだけ参加して、態度を決めることにした。

（斎藤千代）



日本軍性奴隷制を裁く「女性国際戦犯法廷」をどう開くか

一 昨年の「戦争と女性への暴力」国際会議の実行委員を中心に結成された〈VAWW—NET Japan〉は、女性への戦争犯罪が空前の規模で行なわれた二十世紀の最後の月、西暦2000年12月に日本軍性奴隷制を裁く「女性国際戦犯法廷」を開く準備を進めている。

昨年12月12日(土)、早稲田大学国際会議場で開かれた国際シンポジウムは、この戦犯法廷をどう開くかがテーマ。第一部では、韓国(鄭鎮星さん 韓国挺身隊問題対策協議会) 中国(陳麗菲さん 中国近現代史研究家) 台湾(王清峰さん 台湾婦女救援基金会) フィリピン(インダイ・サホルさん 女性の人権アジアセンター、当日欠席のため代読) インドネシア(アボン・ヘルリナさん ジャカルタ法律扶助協会) の各被害国から報告のあと、国際法学者でオーストラリア・フリンダース大学助教授のウステイナ・

ドルゴボルさんが基調講演を行なった。

ウステイナさんは加害者の「不処罰の雰囲気」を克服するために、女性法廷は大きな一歩となると高く評価。これに対して日本政府は不処罰克服への努力の足を引っ張っていると厳しく指摘した。そして、法廷を開くために必要な国際人道法の見直しや赤十字国際委員会等で進められていることを報告した。

第二部では、VAWW—NET Japan 調査チームの内海愛子さん(恵愛女学園大学教授)が「東京裁判をジェンダーの視点で問い直す——性暴力関連資料を中心に」と題して、東京裁判で性暴力がいかに裁かれなかったかを示す資料を提示した。そのあと加害国の女性として、西野瑠美子さん(VAWW—NET Japan 副代表、鈴木裕子さん(女性史研究家)、中下裕子さん(弁護士)が発言。中下さんは特に国連の『マクドゥーガル報告書』から見た「慰安婦」問題について報告した。

最後に、女性国際戦犯法廷に向けて、尹貞玉さん(韓国挺身隊問題対策協議会共同代表)から「女性だけでなく男性も真の生を生きるために法廷を開こう」と力強いエールが送られ、VAWW—NET Japan 代表の松井やよ

りさんが「女性が主体の（女性だけではない）国際的ネットワークで開催しよう」と結んだ。（れ）

◆連絡先はFAX 03・5337・4088

門 玲子さん、毎日出版文化賞受賞

『江馬細香——化成期の女流詩人』（BOC出版刊）でも知られる女性史研究者、〈あこら〉会員の門 玲子さんが、『江戸女流文学の発見』で、第五十二回毎日出版文化賞を受賞。11月20日、東京のホテルで華やかな授賞式が開かれた。

『レディ・ジョーカー』で受賞した細身の高村薫さんが、「作家というのは厳しく苦しい仕事。それが評価されてうれしい」と率直な喜びを述べたあと、美しい和服姿の門さんは、ゆったりと、「本来この席に立つのは、江馬細香や只野真葛のはずです」と、会場の笑いを誘い、「浅野美和子さんほか、〈知る史の会〉など女性研究者の厚い支えがあったからこそ」と、奥行の深い謝辞を述べられた。

会場には浅野さんや高橋ますみさんはじめ、名古屋の〈あこら〉の方々も大勢駆けつけて、心あたたまる一夜だった。

門 玲子さんから

朝晩ぐんと冷えこんでまいりました。気の重かった受賞式が、終わってみたらようやく嬉しさが感じられてまいりました。

毎日出版文化賞は、一作だけで頂けるような賞ではなく、前の『江馬細香』と『湘夢遺稿』の二作もよく検討した上での受賞であることがよくわかりました。それに選考委員の今村仁先生と、受賞者の岩田先生が「二つとも持っています」とおっしゃって下さって驚きました。そしてBOC出版部と汲古書院ですつと出しつづけて下さっていることに感謝いたしました。まことにありがとうございます。

あのパーティー会場で、仙台から来られた只野真葛にぐわしい方にお会いいたしました。私は真葛さんのお墓参りをしていないことが気にかかっておりましたが、快くご案内して頂けることになり、二十七日に仙台へ行ってまいります。

何だか江戸女流文学者のために、一生けんめいに働かねばならぬように、だんだんたつてゆきます。これが私の使命かもしれません。どうぞ今後ともよろしくご指導下さいますことを、よろしくお願い申し上げます。

〈心に届け〉女たちの声ネットワークが稲嶺新知事に要請

昨年12月10日、稲嶺恵一 新沖縄県知事の初登庁に合わせて、昨年5月に東京大行動を行なった〈心に届け 女たちの声ネットワーク〉は、新知事に要請文を提出した。

*

沖縄の人びとは夫、妻、親、子を沖縄戦で失い、怒りと悲しみの体験をしてきました。沖縄戦の歴史から、命の大切さと平和を希求する心を学びました。

しかし、沖縄は五十三年間も「基地の島」として、軍隊・基地の暴力により、人が殺され、自然が壊され続けています。

そして、私たちの生活は基地あるゆえに、日々戦争の足音に囲まれて、不安で危険な生活を強いられています。私たちは平安な暮らしを取り戻したいのです。稲嶺知事、経済復興を理由に、新たな軍事基地建設を受け入れないで下さい。私たちの島の何処にも、軍事基地を造らないでください。

安保条約のもとで、アジアをはじめとする他国の人を戦争で踏みつける、基地・軍隊には協力できません。私たちはかけがえのないものを失いたくないし、奪いたくないのです。

私たちは稲嶺新知事に以下のことを要請します。

- ◆ 普天間基地は一日も早く無条件全面返還すること。
- ◆ 沖縄のどこにも新たな基地は造ってはならない。
- ◆ 基地の県内移設反対（タライまわしは止めてください）。

- ◆ 沖縄の空・海・山、すべての生命を守ってください。
- ◆ 沖縄の真の自立のために最大の努力をしてください。

基地の県内移設に反対！〈海上へり基地建設反対・平和と名護市政民主化を求める協議会〉がアピール

同日、名護市の海上へり基地反対運動で活躍した〈海上へり基地建設反対・平和と名護市政民主化を求める協議会〉も、稲嶺新知事就任にあたってアピールを出した。市民運動側からの厳しい注文を矢継ぎ早に浴び、稲嶺新知事にとっては厳しい出発の日となった。

*

本日、沖縄県知事に稲嶺恵一氏が就任しました。就任にあたって、ヘリ基地反対協として、昨年（1997年）の12月21日実施された市民投票において示した海上ヘリ基地建設反対の意志を再確認するとともに、北部におけるヘリ基地建設は断固として反対することを表明いたします。

地元の意志を尊重するとしていた政府は、名護市民投票で海上ヘリ基地反対が表明され、大田昌秀前知事が反対を表明したにもかかわらず、その意志を無視するのみならず「振興策」を全面的にストップし、あくまで基地の県内移設を県民に押しつけようとしてきました。

この中であって普天間基地の代替基地として、北部に「軍民共用空港」の建設を掲げた稲嶺新知事は、本日の就任メッセージで普天間基地問題でプロジェクトチームを発足すると発表しました。

しかし、これは基地の県内移設を前提にしているものであり、基地問題の根本的解決策にはならないばかりか、基地の県内タライ回しの前例をつくり、沖縄基

地の固定化をもたらす危険性が内包されています。

ところで、新たにつくられるヘリ基地は、米軍の計画によればMV22オスプレイが配備されるなど、普天間基地ではその機能を果たせない近代化されたハイテク基地です。まさにアジア・中東などへの緊急展開部隊としての機能を果たす一大基地にほかなりません。

そして新たな基地建設による自然破壊は、はかり知れなく、更に倍増する軍事演習による騒音、墜落事故等は普天間基地の比ではなくなるでしょう。県民は常に生命の危険にさらされながらの生活を永久に押し付けられることは火を見るより明らかです。

新たな基地は、軍と民が共用できると言うような空港などではなく、稲嶺新知事が公約している「軍民共用空港」がいかに非現実的で破綻した政策であるかは明白です。政府との関係修復や基地と引き替えの振興策などという安易な手法を県政に持ち込むことは決してあつてはなりません。

このことは沖縄県民の自立を疎外し永久に県民に基地を押し付ける道に踏み出すことであり、容認出来ることではありません。

今、沖縄県民が自立しようとしている矢先に振興策と引き替えに基地建設を容認することは、日本政府の意志（権力）に自ら隷属することであり、これは沖縄県民にとって実に悲しいことだと言わねばなりません。

1995年に引き起こされた事件の悲しみ、怒りを乗り越えて「10・21県民大会」で誓い合ったのは何であつたのでしょうか。

二度と不幸な事件を起こしてはならない。そのために基地のない平和な沖縄を建設しようという自立する沖縄県民の心ではなかつたのでしょうか。

市民投票における名護市民のヘリ基地反対の意志は「10・21」の決意の実践でありました。

今、日本政府の振興策を振りかざした基地の押し付けを受け入れることは、「10・21」の意志を見失うことであり、歴史の歯車を逆転させ、沖縄の自立への道を閉ざす最悪の選択であり、ここからは沖縄の平和な未来は決して切り開かれません。

私たちヘリ基地反対協は稲嶺新知事の就任にあたり、平和を愛する沖縄県民の尊厳にかけて、基地との

共存を拒否し、ヘリ基地建設に反対することを表明します。

海上であろうが陸上であろうが、埋め立てであろうが、またこれが軍民共用空港であろうが、北部のどの地域にも軍事基地はいりません。つくらせません。そして危険な普天間基地を無条件返還することを強く求めます。

最後に私たちは、北部地域住民と共に更に普天間や浦添などの住民と連携して基地の県内移設に反対し、基地のない平和な沖縄づくりのために今後とも奮闘することを表明し、全県、全国へのアピールとします。

~~~~~  
**〈新たな基地はいらない、やんばる女性ネット〉結成**  
 ~~~~~

海上ヘリ基地建設の是非を問う名護市民投票で、新たな基地建設に「ノー」をつきつけてから一年たった昨年12月21日、沖縄北部十二市町村全域の女性たちを結ぶ〈新たな基地はいらない、やんばる女性ネット〉が結成された。

稲嶺新知事が公約した「北部に軍民共用の陸上空港

沖縄から

建設」に衝撃を受けた北部の女性たちは、沖縄本島に最後に残された山原（やんばる）の美しくゆたかな自然と文化、平和な暮らしを守るために、「海にも陸にも、やんばるのどこにも、そして私たちのいのちとながるこの島々のどこにも新たな基地をつくらせない」という思いで〈やんばる女性ネット〉を立ち上げた。個人・団体（市民グループ、労組女性部、地域活動諸団体）で構成し、やんばる女の心意気で、自らと子どもたちの未来をつくっていきたいと考えている。連絡先はネット代表の宮城幸さん（〒905-1114 3 名護市真喜屋682）。

防衛庁が比嘉前名護市長に感謝状!?

防衛庁は1月14日、一昨年海上へり基地建設受け入れを表明して辞任した前名護市長、比嘉鉄也氏に感謝状を贈呈した。防衛庁は毎年、基地を抱える市町村の首長や自衛隊への協力者などに感謝状を送っているが、比嘉氏に対しても「基地建設反対が上回るなかで、振興策などを考えて受け入れを表明した。行政への理

解と協力をいただいた」としている。住民の決定を逆撫でするような防衛庁の行動に対して、「感謝する」というのは、市民にも前市長にも失礼ではないか」と、へり基地反対協の元代表で現名護市議の宮城康博さんは話している。

ビデオ「沖縄戦の図」佐喜真美術館への誘い

宜野湾市、普天間基地のフェンスに接して建つ白亜の建物、佐喜真美術館は、昨年で四周年を迎え、このたび、沖縄修学旅行の事前学習にも資料として活用できるとビデオを作成した。沖縄県民の戦争体験、証言者の想いなど、「沖縄戦の図」作者の丸木夫妻の願いすべてが理解できる内容。30分で、一本3500円（税・郵送料込み）。問い合わせは佐喜真美術館（09 8・893・5737）へ。



大震災から四年——まけないぞう！

大震災から早くも四年。華々しく復興した部分もありますが、仮設住宅にはまだ千二百世帯も住み、復興住宅では昨年一年間で孤独死・自殺が三十一人にも及んでいます。さらに被災生活を不況が圧迫、仮設と復興住宅に住む勤労者の約四割が職を失い、新築した人びとも二重ローンの返済に苦しんでいます。

〈あごろ〉会員のなかでも、神戸の支援に力を尽くされた方が何人もいらっしゃいます。四年前、東京からボランティアとしていちばやく駆けつけた城内治美さんは、現地の仮設住宅に根を下ろし、ボランティアを越えた活動を精力的に続けています。

西宮で震災直後、被災者の綿密な調査から始めた石井布紀子さんは、ボランティアグループ〈DENNE N〉の仲間たちと一緒にまちづくり支援グループ〈プロジェクト結ぶ〉を立ち上げ、全国から送っていたいたタオルを象に加工する「まけないぞう」運動はNHKでも朝日新聞でも大きく取り上げられました。そ

の他にもふれあいバザーへエブリーへ、個別訪問のへでないでつかへ、お茶会へお茶のもうかいへ、生活用品を届けながら仮設以外にも訪問する〈りりーぶの会〉の四つのプロジェクトが、仮設住宅を中心に定期的に活動を続けています。震災当時二十代だった布紀子さんは、震災から多くのものを学び、それをエネルギーに変えて続けているようです。〈結ぶ〉が隔月で発行する『かすみ草通信』十六号から、布紀子さんのメッセージの一部をご紹介します。

*

さて、みなさんにとって、この四年間はいかがでしたか？ 一九九八年の神戸の最後を飾ったルミナリエという美しい光のイベントでは、町中がホットなムードを味わいました。確実に震災から時が流れていることも感じられます。「影の部分にもスポットを」という声も聞こえています。よろしかったら、みなさんも、四年前のことを振り返ってみて下さい。忘れたくないこと、忘れてしまいたいこと、何でも結構です。新年の夢や希望、今の現実や今後の願い……などをお知らせくださると嬉しいですよ。

阪神から

〈プロジェクト結ぶ〉では、「いつでもどこからでも・どんな立場の人でも、自由に気軽に参加できるような支援活動であってほしい」と、震災復興支援活動や、被災地での小さなまちづくり活動を続けてきました。楽しくやりたい人、社会的評価やテーマにこだわって活動したい人、身体を動かしたい人、機械を動かしたい人、年齢も社会的立場も趣味も好みもちがう人たちが、それぞれのペースで現れては消えていくことを歓迎し、また、1月17日などの特別な日に派手なイベントをするだけの活動になるのはイヤだという気持ちも残っていました。ただ、入れ代わりでいろんなノリになる空間は刺激的で楽しいけれど、時として混乱も大きくなり、責任の所在もあいまいになりがち。五年目の活動では、広がりを目指す事業、深まり優先の事業、収益重視の事業、娯楽性追求の事業、単発の事業、継続の事業など、それぞれのプロジェクトごとに、活動やグループ構成などの骨の部分を見極める必要があります。そうです。抜本的体制改革をはじめようとしています。

◆〈プロジェクト結ぶ〉事務局

〒663-8203 西宮市深津町三十一 五 マン

シオン白鳩一階 TEL07998・64・5829

被災者支援へ公的措置法案を

昨年5月に成立した「被災者生活再建支援法」は、所得や年齢制限が厳しく、支援金が一部の被災者にしかゆきわたらない。これでは不十分であると、〈市民Ⅱ議員立法実現推進本部〉など三つの市民団体は1月13日、国会への提案を目指して「国による自然災害被災者の生活基盤回復等を推進するための公的援護措置法案」を発表した。

この法案は制限をなくし、すべての被災者を対象とした援護金の支給などを盛り込み、国の責任を明確化している。

市民と議員が協力して「災害被災者等支援法案」を作り上げ、国会に提出した実績をもつ〈市民Ⅱ議員立法実現推進本部〉。残念ながら前の法案は廃案になったが、今回も市民と議員との協力をめざして、国会議員に賛同の呼びかけを始める。

◆連絡先は0797・38・2585（本部事務局）

語りかけたいあなたへ 18

大里知子

奨学金

日本国際交流センターの「ダルニー奨学金」を通じて、タイの中学生に奨学金を送り始めてから、もう今年で五年になる。

月日がたつのが、つくづく早く感じられる。

私が、どうしてタイの中学生に、奨学金を送るようになったかというところ、地方新聞『新鹿角』を発行している伊藤敏夫さんから、タイの中学生を支援しているということを聞き、私も仲間に加えてもらったわけである。

現在、日本の中学でひと月に納めるお金は、給食費も合わせて一万一千円くらいということで、わが国での奨学金ということになると高額で、とても私には出せそうにもないものだけれど、タイの奨学金は一年間に一万円、ひと月に換算すると千円にみたない額だから、なんとか私の小遣いで送れるので五年間も続けられたのだと思う。

物価が低いことはもちろんだが、タイの人びとの所得も少ないことは言うまでもない。したがって家庭の事情で、学校へ行けない子どもが意外に多いと聞く。

私たちが送っている奨学金は、子どもの親もとへ送ると、親が子どもの学費としてではなく、勝手に他の事へ使ってしまう恐れがあるというので、中学校へ直接送り、その学校の先生に管理してもらっているとのこと。奨学金をタイへ送り始めた頃、もし運悪く私を送ったお金が途中で消えて、奨学金の役をなさなかったとしても、その時はその時で、しかたがないことだと思っていた。

でも、私からの奨学金を受けたという中学生から手紙をもらったりすると感激し、私のお金も無駄にはならなかったのだという思いに浸ることもある。

学校へ行けない理由は異なるけれど、学校へ行きたくても行けないという気持ちは、私にもよく理解できる。それだからこそタイの中学生に、奨学金を送ることにしたのかもしれない。

(一九九八・七・十五)



頌春'99

女から女たちへの メッセージ



女たちの情報紙
ふえみん
f e m i n
WOMEN'S DEMOCRATIC JOURNAL

からだのしんはい
はたらくもんだい
こころのえいよう
さべつへのいかり
アジアのうごき
あんぜんでなに？
きのうまでのみち
あしたへのみち
わたしのいけん
あんなのいけん
おんなという
ちから。

創刊以来 無党派の立場で50年。
世の視点と創る。もうひとつのメディア。

東京都港区神楽坂3-31-18-301 大塚利雄 大塚市北区中崎西3-1-5
TEL 03(3402)3244, 3238 TEL 06(371)2429
FAX 03(3401)3453

見本紙 お届けします。お問い合わせ下さい。

草の根は 伸びつづける。

14月
750円

毎月5日・15日・25日発行

ふえみん婦人民主新聞
婦人民主クラブ責任編集

ありがとうございます

ご厚情に心からの感謝をこめて新年のご挨拶申し上げます。
お陰様で35歳、ボランティア時代を含めると39歳になりました。
その割には未だに未成熟ですが、北海道から沖縄まで、たしかなネット
ワークが出来ましたことをありがたく思っております。
不況は「普況」、右肩上げりの幻想を是正して毎日を大切に、
今年も誠実な仕事で働きたいと希っております。
よろしくお導きください。
1999年 元旦

創造力の銀行 **BOC** 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4
☎ 03-3354-3941 FAX 03-3354-9014

企 画
調 査
取 材
編 集
速 記
撮 影
デザイン
翻 訳
印 刷
そ の 他
専 門 職

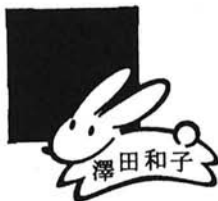
あけまして 1999年 元旦 おめでとうございます

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。
28年前自動車免許の取得と同時に損害保険代理店を開業し車で営業を続け、16年前に芳泉企画を設立代表者となりました。昨年5月末会社を息子に譲り、ついでに運転もやめました。

これから何をするか？ 仕事の余暇に係ってました「あごら」の姉妹会社BOC大阪の仕事を引き継ぎました。女性の「創造力の銀行」です。次の世代の女性たちと楽しみながら仕事ができればと今試行錯誤をしています。

本年のご援助に感謝を申し上げますとともにご報告し、本年変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。年の初めに平素のご厚情に感謝し、ご多幸をお祈り申し上げます。

自宅 〒533-0023 大阪市
東淀川区東淡路1-5-3-915
TEL (06)6329-3364
連絡先 〒533-0023 大阪市
東淀川区東淡路1-5-2-443
(株) 芳泉企画内 BOC大阪
TEL (06)6322-2203
FAX (06)6320-3413



一九九九年元旦

遅まきながら、あけましておめでとうございます。
昨年十二月九日に二期八年の知事職を離任致しました。選挙にさいし、また知事任中は温かいご支援を賜り誠にありがとうございました。お陰様で、大過なく職務を果たすことができました。心からお礼申し上げます。今後は、個人事務所を開いて、平和・環境・女性・福祉問題等を中心に研究・執筆・講演活動を行うとともに沖縄の基地問題を広く国内外に発信し、解決に努めてまいります。何卒これまで同様の指導ご鞭撻をお願い申し上げます。
御一家皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します。

宜野湾市嘉数一ノ十八ノ八

大田 昌秀

あけましておめでとうございます。

1999
今年もよろしく。

小林カツ代



株式会社 小林カツ代キッチンスタジオ

167-0042 東京都杉並区西荻北 2の27の3 #302
T 03-3395-9083 F 03-3395-1228

こづきごいます。

「花の乱」だより 片岡陽子
あごら編 その7 1999・1・5

『花の乱』だよりは、まず「パ

ート」編を続行中。そのあと、「不当解雇」編として、当時の「新評論」編集長、藤原良雄氏（現 藤原書店店主）の、法廷での証言などを振り返ります。

新年明けましておめでとうございます。

98年はギュッと凝縮した1年でした。ソウルでのアジア女性連帯会議（岡山で5年間暮らした友人チ・ヒョンジュも同時に帰国）、釜山・慶州・大邱（イ・ヨンスさん訪問）、ミャンマー（森川万智子さんが調査された慰安所跡訪問）、ネパール（NGOサミットにお招きしたシャシ・カラ・シンさんの障害者技術支援センターなど現地のNGO訪問）。ネットワークが広がりました。

“CAP（子どもの活動支援）岡山連絡会”や“「慰安婦」問題を考える女たちの会”は結成して早3年になり、着実に活動と楽しい集まりを積み重ね、シスターフッドも健在です。また、犯罪被害者支援活動、中高生への性教育講座も、今までの活動の延長線上で始まり、昨年開設した「女性と政治バックアップスクール」では講座生の中から候補者が続出。今春の統一地方選挙が楽しみです。

99年はウサギ年。年女（1月10日で48歳）なのでお昼寝もいいよね。耳の端のやわらかいところで春を感じたいな（お嬢さん「おはね」の胸）。あなたにとってもよいお年でありますように。

◆ 1999年1月 命

〒703-8266 岡山市渡396-3
市場 恵子
TEL&FAX(086)277-7522
E-Mail: ichiba@pop01.odn.ne.jp



明けまして
おめでとうございませう

昨年はいろいろお世話になりました
今年もよろしくお願ひ致します

「お産のミミ博物館」は、大勢の方々のご協力、ご的助成や年賀はがきなど、お義理などで、七月に無事開館し運営しております。ご芳志に感謝申し上げます。近くへお越しの折にはお立ちよう下さいませ。

平成十一年元旦

〒160-0001 東京都新宿区高田馬場一丁目二四一ハ
TEL 3232-0006 お産のミミ博物館
FAX 3232-0010 有限会社 芳心社



「お産のミミ博物館」 西村三郎 画

迎春

あかあかと

一歩の道

通うに

一九九九年己卯元旦



たのしみは
いもうと
前年同様

浅井美和子

迎春 1999年元旦



日頃のご厚情、ありがとうございます。

昨年は、参院選挙で福島瑞穂議員の選対の一翼を担いました。9月には異動があり、長年親しんだ「社会新報」編集部を離れ、党女性市民委員会の事務局長となりました。また11月から「女性と政治スクール」（土井たか子校長／全5回）を開講し、初回は田嶋陽子・法政大学教授と土井党首のトークバトルで大盛況を納めました。

今年はいよいよ統一自治体選挙です。女性議員を一人でも多く増やせるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

社民党女性市民委員会 小林わかば



〒100-0014 千代田区永田町1-8-1
☎ 03(3592)7508

明けまして

おめでとございます。

あぐらのような本をもっと
もっと多くの方々が読んで
下さるようになると、女性の
意識も高揚してくるのではないかと
常々思っております。
どうぞ今年も御教誨下さいませ。

平成十一年元旦

高木 栄子



富山県 伝統的工芸品「丹波刺子」 刺子繻

公書

西の中

山ほとり 不安材料

をかええこの新しさを

切り拓く道はあいらに

期待するのないうえよめ

福田 光子



謹んで

新春のお慶びを

申し上げます

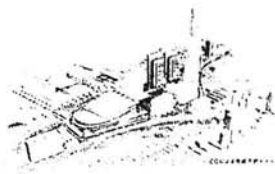
皆様のご健康とご多幸を
お祈りいたします

平成十一年 元旦

〒333810003
埼玉県与野市本町東六151231100七号
(T&F)〇四八1八五三1〇二三六

西川 けい子

本年もいろいろ刺激をお願いします。



埼玉県「21世紀初め」の「さいたま新都心と秩父連山」・秩父 刺子繻



いつもお返しを
ありがとうございます。

小島サカエ

頌春 ??はてな通信?? 1999. 1. 1



1998年 8大ニュース?

- ①3月/親戚の家まで初の一人旅の息子(11歳)の心中やいかに??
自立へのはじめの一步を踏み出したようだ。
- ②4月/ポリプの演出手新で人脱した清吉と「今いまがベスト」の実感を訪
ぎ合いたいと思う。皆様、健康と気力のバランスを♡とともに。
- ③5月/野球は絶対しないと言っていた息子(9歳)がコーチの「いい
肩してる」発言を誘い水に、少年野球大正ライオンズに参加。
- ④5月~12月/我家のメモリアルデーの食事を娘(15歳)が担当。
「い」と舌鼓に腹鼓! 娘の手はマジックハンドか、感動! 感謝!!!!
- ⑤6月/ワンちゃんクロネコに仲間入りトラとチビクロ、只今大1匹盛3匹
同居中。朝晩の散歩の約束を実行し続けている息子たちがステキ!
- ⑥9月/イチローの試合観戦を選択した息子は、将来の夢はプロの
野球選手。『マウンドで撮えられたか汗玉拭いて定めてプレイボール』
- ⑦10月/子ども達の第二の誕生、果立ちも間近! そこで私はパートタイ
ム(兼講師)をライフステージに繰り込む。
- ⑧11月/12人の有志で「まひるのほし」の自主上映に取り組み、出会い
が出会いを呼び、今生きてあることに、ただただ感謝♡♡

1999年が皆様にとって軽やかにホッピングな年となりますように。

前田 享子

卯のとしを

五たび重ねて迎かふ春

あたらしき暦 なに記さむや

ふいにの多にすすように



うさぎ ねむる男 画

468
0061

名古屋市天白区八事天道 706

山下智恵子

賀正

今年は、終戦後既に半世紀を過ぎ、私の弁護士生活も同様に五十三年、八十四歳にな
りました。この五月には同志と朝日新聞社の支援で始めた朝日法律相談所も、創立五十周年を
迎えることができ有りがとうございました。秋にはお隣の中国でも建国五十周年祭、
我が日本弁護士連合会でも五十周年の催しがあり、いずれも、我々と同じように、こ
れからのさらなる飛躍を考えられていると思います。
私も、お蔭様で健康に恵まれており、老病ながら余力の限り、これからも、精進し
てより向上を図りたい所存です。今年もよろしくお願ひします。
平成十一年元旦

下 光 軍 二

自 宅 平 147 0074 東京都新宿区北新宿一三〇一三二八
事務所 平 151 0053 東京都渋谷区代々木二一〇一三二四六
美和プラザ新宿四〇五

下 光 家庭共同法律事務所
電 話 (〇三) 三三三九一七〇〇・一五
FAX (〇三) 三三三九一七〇二・八二八



頌春



新しい年が、一層お幸せで
あります様お祈り致します
平成十一年元旦
ごぶさたしてあります

〒344 0001 春日部市一ノ割一三二一八

池 田 良 鶴
電話 〇四八(七三八)五五六三

賀 正

- 1999 -

多岐もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
いつもタイムリーな情報ありがとうございます
ニギハヒます。あまのめにも火の思ひに
なることかマアいます。新しい年のはい
まり、乳持のを新年に スタートです。

〒056-0005
北海道静内郡静内町こうせい町2丁目12番15号

大 西 順 子

TEL (01464) 3-0076

新春を喜ぶ

謹んでお祝調を

申しあげます

平成十一年 元旦

へ持国参上致し
あひねり 南条キリ

〒810-0033 福岡市中央区小笹四一〇二二〇

FAX 〇九二(五二四)一〇七〇

河 野 信 子

謹 賀 新 年

今年こそはフキヨウ、フケイキをピョンと
飛び越え、21世紀へ向けて、かろやかに
ジャンプしたいですね
皆様のご多幸をお祈りいたします

今年もよろしくお願いいたします

1999年 元旦



〒811-3115
福岡県古賀市久保1352-36

TEL・FAX 092-943-4270

石原正敏 豊子 有理 生吾
(今年、中学生になります)

あけましておめでとうございます

いふたしといふ、八年越しの日本経済
停滞は回復せず、今年も多難
な年になりそうです。ニウリウ
転換期こそ新しい傾向が作れ
そう、な気もします、御活躍を

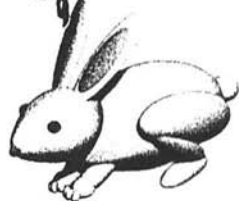
一九九九年 元旦 高橋 美保



あけまして

おめでと

ございます



菊地 玲子

家庭という小さな窓から
ながめていても恐い事の毎日
です。いつか大きく開けたいです。

賀正

一九九九年一月一日

と云ひまことまふり
つあひらしの内をふり
刺しぬとふりこいもこ
ろより、いふとみすに
近めいふれーいふまふり
本さしあふり
しあふりいふれいふれ

〒222-0031

横浜市港北区大倉町一三三三三三三〇七

TEL 〇四五(五四二)六三三三九

山口 美代子

賀

1999



大韓民国の人形
KOREAN DOLL

〒729-2252 広島県三原市幸崎町 能記1617-1

岡田 聡子



一九九九・一・一

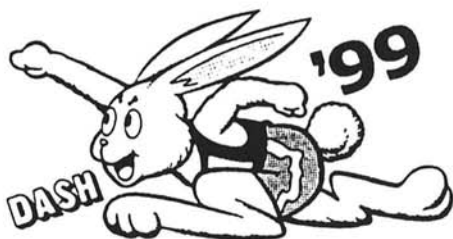
世の中どう愛ろうと私は私・やっぱり
物なれど二人三脚で今年も無事に
過ごしたいと願っています。
あなた様のご健康とご多幸をお祈り
いたしつづ。



山田啓史

[22]

一応大学3年生。昼と夜がひっくり返った生活で、父母から批判的に。で当人は馬耳東風だが、「おばあちゃんだけが味方」と時々なげく。組織者を自認。大食漢でかまずに飲み込むのが特技。本業、の方と共に消化不良?



今年も皆様にとって平和で幸多き年でありますように! <1999年元旦>

山田潤子

[15]

田舎の長い一本道のような性格で、相変わらず泰然自若としている。

中学生生活もあと3か月。2月には高校受験の試験があるが、この試験を意識しないよさを親は心配している。「反抗期だ」と書いておいてくれ!とは本人の弁。



山田耕史

[20]

一応大学2年生。サカとアルバイトのため「大学に入った」。専攻科目よりブランド品に精通。家が狭いため、近所で眉借りの生活。食事に帰っては母とやりあったり、妹をからかったりして嫌われている。友人が出場する予定の「箱根駅伝」を自分のこのように楽しみに。

自己主張がとみに強くなった子ともうを相手に、自分の意見を若干控え目にしている毎日。手数はかかったが、幼い頃の「仲良し一緒」の生活が懐かしい。トシと共に、体力は昔ほどにはいかなかったが、しかし、今年も、気力だけは充分に持つて……。

山田淑子

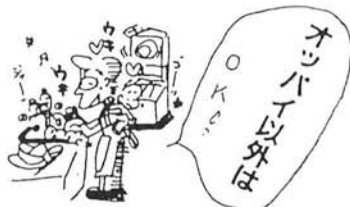
山田敏行

知人の作家からの最近の手紙。「あなたは常に少数派でいつまでも苦勞ばかりだね」。その少数派で今年4月には8度目の新宿区議会選挙を闘う。

このころの世の中は、「石が流れて木の葉が流む」のたとえがぴったり。悪徳大銀行がずわれて、倒産者が中小業者が犠牲にやせられている。「流した汗がもくわれる世の中」にしたいもの一。



東京都新宿区大京町26番地、野口ハウス604号
〒160-0015 電話 03-3341-3074 (FAX兼用)



僕が編集長をする
に「育児休業宣言」
を載せて職場（市役所
全部）に配った。

回りの反応は、①何で彼女が取らないの（僕の6割の年収）。最も僕と同じ位収入があっても、やっぱり同じだろうがネ。②母親の楽しみを奪うな。③残った仕事は誰がするんだ。そしてもう一つ……。

育休の辞令交付時の「主夫は表に出ないで、家庭内で育児に専念しなさい」との市教育長の言葉。これは、旧来の性別役割分担を肯定する考えが根底にあり、世代間ギャップと言ってしまえばそれまでだが、男女共同参画社会を目指す行政のトップとしては、古い考えで問題である。

三世同居率28.6%で、23.6%の福井を押さえて全国トップの栄誉を誇る我が山形県（95年国勢調査）。もう一つ芳しくない全国一位が続いている。民法改正（選択的夫婦別姓制度の導入を柱）反対の自治体決議が相次いでいるが、96年12月末で全国百カ所の反対の内、25議会を山形で占めた。97年11月で反対355決議の内35が山形。もっとも人口で換算すると大した数ではない。尾花沢でも、庄内藩17万石酒井家17代当主が代表の「家庭の温かさを守り伝える会（鶴岡）」から出された反対請願が可決。そんな山形だから男の育休は、庄内で高校教師が1名、民間で1名、自治体では僕が初めて、計3人目。



初めての赤ちゃんの育児そのものは、父親であれ母親であれ、母乳を飲ませる事以外はそんなに変わらないはず。口先で仕事と彼女から言われている僕なので「母性（ぼせい）的（てき）な母親（はは）というのは、女性学（おんながく）という分野（ぶんぎや）（社会的・文化的性差）であって、今は育児性（ごいきせい）・親性（おやせい）と言い換えており、幼い存在への共感（きかん）や世話（せわ）は、女だけでなく男だって等しく有る（個人差はあるが）。ようは、刷り込み・教育で決まるもの」と実践に入らなかつた。が、これはあくまで建前、本音は「土、日はほとんど家にいない。平日の夜も然り。育休を使い切ってあちこちの代市市民運動、コンサート等遊び歩く毎日。育休でも取って、子育てに係わろう」との軽い考えだった。

あつという間の4カ月だった。教えて上げたい事も（育児）、子育てを通して気づき教わる事も（育児）いっぱいあった。育休を終わって地域から聞こえてきたのが「たかが子育てで仕事を休むなんて。男は仕事が第一。出世出来なくなる。子が病気の時医者に行くのは、母親の役割。男が仕事を休んで職場に迷惑（めいわく）がけるな。」との忠告だった。小さな親切（せふ）大きなお世話（せわ）。僕は出世なんて考えてないから心配無用。が、後に続く後輩（こうはい）の事を考えれば、そう切り捨てて済む問題ではない。

職場に「迷惑（めいわく）がかるのは、残った人から見れば、父親が休もうが母親が休もうが、一名欠員（けいぎん）は同じだ。女は子の事で早く休むから「当てにできない」と言う男は、自分のパートをおとしめる事になる。父親ももっと休もうよ。お互いさまなんだから。」

所で、これを読んでいるあなたも育休を取ってませんか。子育てが終わってたら、息子に娘の夫に、男の育休を進めて下さい。子を産み育てる決意（けつぎ）をしたら、産休（さんきゅう）と同じくらいは男も育休を取る「責任（せきにん）」とささやかな「義務（こむ）」がある。

それにしても純真（じゆんしん）無垢（むこ）な赤ちゃんの笑顔はまさに「天使（てんし）の微笑（みわう）。」字（じ）の2（に）はわーかわいいーん！僕（ぼく）ってジ・ア・ワ・セ。

第三種兼業主夫より、第一種専(洗)業主夫

になりたる「はする」 尾花沢市 菅野真治



女のすなる育児休業
といふものを男もして
みんとすなるなり。

第三種兼業主夫より、
第一種専(洗)業主夫
になりたる「はする」
(尾花沢市 菅野真治)

92年に育児休業法が施行(一才未満の子を養育する男女共、最高一年休業が保障)。と言っても、当時は親になる方は全く立てなかったし、我が子を欲しいとも思っていなかった(これから生まれてくる子に、輝かしい未来の展望があるのか。今の世代は「豊かな」大量消費社会を生き抜いてるが、その次の世代に先送り。国民一人当たり400万円の借金、環境問題、材料汚染...。『将来科学が発達すれば、今抱えてる問題は解決してくれる』との科学と言う名の宗教を信じている多くの人間。原発の放射性廃棄物処理もその一例。又、子育てには、多大な経済が必要だ。金を使い・金を使い・時間を使う。その分自由に遊んだ方がいい)。

所が、幸か不幸か神様が巡り合わせてくれた今の彼女は、大の子供好き。付き合ってる時は、自分たちの子供をどうするかという話を話し合った記憶がない。長男・長女の「跡取り」同士結婚したいなもので、周りの雑音を切り取るのに精一杯だった。夫婦別姓の件、結納をしない事、婚約指輪等に刀や刀金製品を使わない(当時は南7の刀や刀金製品が有って、経済制裁・南7製品禁止運動に参加して)等に頭が一杯だった。

彼女がどうしても子が欲しいというので、協力する事になった。半年たっても妊娠の兆しが見えないので病院にいったら、出来ていたのは子宮筋腫だった。色々迷ったが半年後子宮を残して筋腫摘出手術をした。更に一年後検査の為の手術を受けたが、妊娠せず。往復2時間かけて月の半分以上は山形まで医者通い。排卵誘発の注射とか、薬を飲み続けた。2年経ってもまだ卵で、治療を辞めたら「学(まなぶ)：が授かった。どうしても子が欲しいと決意して仕事をやり続けたので大変だったが、それよりつらいのは、周りの「赤ちゃんはまだ...?」との軽い気持ちの挨拶。僕はどうって事なかったが、彼女には切々と刺さる一言だった。未婚の人には結婚はまだ?と問い、結婚すればしたで赤ちゃんは?二人目は?次は男の子、と九十九が続く。

まじ通信
のぼり



言う人はけいけいの「人並みの家庭」像を頭に描きながら、何の悪気なしに、むしろ善意で語りかけてくる。曰く、一人っ子はいいわ。女の子も居たほうが助かるよ... とね。

妊娠が分かったとき僕の頭を駆け巡ったのは育休の事。いつから、何ヶ月取るうかと。育休を取らなければならぬ様なさっぱりした状況ではない。66歳の母親と同居(一日2時間の清掃パート労働者)だから、世間の常識では彼女が退職して孫の子守をすればいい。

妻の職場も育休を取ってる人が居り、代替も付くと配置なってる。年収は僕の6割。男の出る幕は普通は無い。

1992年では93年から、男に最低4週間育児休暇を割り当てる「パパ・リターン制(愛をこめた法律的強制)」ができ、7割育休を取ってる。子は二人で産み育てる。女は産前産後14週は職場を休む。男も一ヶ月なんてけな事いわないで同じくらいは休むべきだ。問題は産休は有給だが、育休は無給な点。家のローンが500万円残ってる。年2%と低利の県育休ローンは百万円が限度。基準日に在職しないと、ボーナスも。昇給延伸もなる...色々計算と打算の結果4ヶ月弱の育休を取る事に。



はるまじ通信
のぼり

頌春 1999

東京都新宿区新宿 1-9-4 あごら

◆イラク人一万人の死を計算して空爆した米英。「独裁者フセイン」という仮想敵をつくって権力を誇示し、世界を支配する試みです。十分な飛行機もないイラクに、絶対安全な場から新型爆弾を遠隔操作して威力を検討するとは、弱小国・異教徒・有色人種に対する差別とは思えません。

それをいち早く支持した日本。沖縄からは二百人の海兵隊が、佐世保からは二千人の海軍がペルシャ湾に着きました。日米軍事同盟は安保を解消しないかぎり、日本は米軍の戦争に無原則に巻き込まれ、沖縄の基地問題は解決せず、属国状態は続くでしょう。安保に代わる日米平和友好条約を締結して、言うべきことを堂々といい、平和憲法を堅持する状況を一日も早くつくりたいものです。

◆245号 (フェミニズムとは限

りないやさしさ、そして動き)でご紹介した『教えられなかった戦争・沖縄編——阿波根昌鴻・伊江島のたたかい』のビデオを購入しました。東京・横浜を皮切りに各地で上映会を開きます。「安保と沖縄」を考える絶好の資料です。各地で開催ご希望の方はご連絡を。

◆自民接近、平和憲法が危ないなか、「周辺事態法」の国会審議が最終段階に入ります。原案が通れば、沖縄の基地問題は絶望的になります。各地方議会からも声をあげていきませんか。

◆恒例の新年メッセージ、11日到着までお待ちします。今年は地方選にお立ちになる方も多いと思います。お立ちになる方にはお一人1ページ分のスペースを特にご用意いたします。ご本人がすでに議員で年賀状がむりな方は、友人のメッセージのかたちでどうぞ。

◆衆議院の改選もうわさされています。米国のエミリーズ・リストのような女性立候補者に対する援助組織づくりが始まりました。新年号のTOPICSで、内容をご紹介できると思います。

新年会と伊江島のたたかいた上映会
・新宿 1月20日(水)

①15〜17時懇談会「女性議員を当選させよう」②18〜20時ビデオ上映。会費千円。飯田橋シニアワーク東京5階第一セミナー室
(03・5211・2310)

・横浜 1月21日(木) 14〜17時
神奈川県民センター4階406号

(横浜駅三越裏) 045・3121121 会費千円。その後

別室で夕食を。2月に「あごら横浜」を立ち上げるご相談をしましょう。連絡先・新美みつ子(045・962・8474)

二十一世紀を女たちの世紀に

長い間制度の中に押しこめられていた女たち、
生まると自分らしく、自己実現していく。一度その
人生のもの、謝らねばならぬ自分のために、その結局
社会を変える大きな力になる。と信じている。

さて、私は現在二期目の市議員である。名実ともに「友達
選挙」をやります。次期の活動を考えてあたり、古澤眞
の議会政治を交えるには、真の同志が必要だ、と99年4月
の選挙はもう一人女性新人を立てて戦うことにした。Wさん、と
か、共倒れになるか——当市に友人友人ありの方は是非ヨシウ。

岡山市議会議員

横田悦子

市民が元気に！ 女性が元気に！ 政治を元気に！

中野区議会議員・無所属 佐藤ひろこ

毎年四回『うさぎだより』をお届けし、私の議会活動や情報を伝えてきましたがいかがでしたか。

「いっしょに生きたいネッ！この街で」をスローガンに、だれもが暮らし続けられる中野の街をめざして、政策提案を重ねてきました。いっしょに考え行動し、議会で発言し続けてきた七年半の小さな積み重ねで、議会や区政のあり方に新しい風穴を開けてきました。自民党から共産党までオール与党化した区議会の中で、たった一人で予算や決算に反対したこともありましたが、がんばってこられたのはみなさんのおかげです。

この間、行政だけに頼らず、自分たちの思いが届くやり方で、自分たちではじめた、いくつかのグループに関わってきました。外出支援のガイドヘルパーをはじめたグループ、子どもたちの自立のための場づくりをはじめたグループ、痴呆性高齢者のデイサービスが続いているグループ、公共交通機関を調査し、駅へのエスカレーター設置実現に努力してきたグループ、また、パート労働等の女性の雇用不安をサポートするために、ユニオンづくりをはじめました。自分たちの手で作っていかう、変えていかうという動きに、市民自治の基本があると思います。自分たちの街を自分たちで作る、市民の力で政治を動かすことができます大切にさせていただきます。

七年半大切にしてきたのは三つの姿勢です

◎市民に情報を

毎議会ごとに『うさぎだより』を出して議会と区政の問題を伝え、歳費も公開してきました。情報を伝え市民と一緒に考え、区政に提案することが議員の役目です。数の力ではなく、議論の力で議会と区政を変えていきたいと思っています。

◎市民の目でチェック・市民の立場で発言

上野原スポーツ学習施設建設計画に最初に疑問の声を上げ、その予算に、たった一人になっても毎年反対し続けてきました。大多数の議員が賛成し、土地は購入されてしまいましたが、反対もなく建設を始めていたら、もつとひどい財政難になっていたでしょう。

焼却型の清掃工場建設にも強く反対してきました。ダイオキシンの問題がやっと大きくとりあげられ、計画は延期されました。焼却・埋め立て型の清掃行政を、再利用・リサイクルを中心とした資源循環型のしくみに転換させなければなりません。

◎市民とともに政策づくり

阪神淡路大震災のあと被災者支援のための市民立法を全国の市民とともに実現しました。街を立て直す基本にあるのは、ひとりひとりの安心して暮らせる住まいをつくることです。中野区は二十三区でも

緑や空間が大変少なく、大地震の時などの火災危険度が一番高い地域です。貴重な緑や空間を守ること
も提案してきました。

こどもの権利の尊重や、ひとりでも異義が申し立てられるしくみを教育行政の区民参加条例の中に提
案してきました。また、女性への暴力を防ぐ取り組みなど、市民とともに提案してきました。

身の丈以上の施設建設が招いたバブルの崩壊と、あとに残った巨額の借金。大変な財政難に陥ってし
まった今、行政は何をやるべきなのか、市民は何をやるべきなのか、根本から問い直すときです。二〇
〇〇年に介護保険制度が導入され福祉サービスの仕組みが大きくかわってきました。また、国から地方へ
の分権が少しずつ進み、地方自治体と議会の役割が住民にとってますます重要になってきます。

この大事な転換期に立ち、市民の思いをつなぎ、議会と区政を変える小さな歩み続けるために、再
び、来年の区議会議員選挙にチャレンジします。応援してください。

議会の中に協力者を

すいた
吹田いきいき市民ネットワーク 吹田市議会議員 寺尾恵子

新年 あけましておめでとうございます。

去る四年前の同じ頃、皆さんの要請をいただき議員になる決意をした時を思い出します。それまでも

考えていたことは、経済成長しなくても、豊かに暮らしている国はあるのに、こんなに貯蓄している国の国民がなぜ老後も、子育ても不安なのか？ 配分がおかしいのではないか？ 公民館の講座企画で環境問題を取り上げても、介護問題を取り上げても、子育て講座をしてみても、情報が市民に伝わっていないため、全てが行政にお任せせざるを得ないことに不安を感じていました。はっきりした情報を知らないために、市民の方々の中できちんとした議論や世論にならず、多くの問題が一部の人の匙加減で決まってしまうということが、議員となつてからも強く感じることです。

経済が豊かなときの政治は、優先順位の付け方が楽で、どんな選択をしても余裕があり、税金で賄えます。これまでの吹田はそうだったに違いありません。政治家は悪いことさえしなければ良かったのです。皆さんの関心のなさに乗じ、議員も情報をむやみに流さないことで自分の地位を保全できました。しかしそんな時代は終わりました。議員の能力をよくご存じの皆さんは、議員まかせにすることの危険に気づいていらつしやるでしょう。そんな思いは私にもあり、議員となつて常に心掛けることは、

①決定機関に身を置くからこそ得られる情報を、できるだけ多くの人に知らせたい。そのためには、既製の組織や政党や議員派閥のしがらみと距離を置く。

②広い視野の問題意識やヴィジョンを持つ皆さんと共に行動し、思いを共有しながら政策決定に加わる。この二点に絞りました。多くの人に出会い、支えていただき、この視点に間違いはなかったと思います。幸い友人たちも未知数の議員の仕事に理解を示してくれ、議会報告の配布やネットワーク運営に力を貸してくれました。

でも皆さんのまっとうな行政への要望を叶えるには、物理的に一人では限界があります。例えば委員会が同時期に開催されるので、一人では一つの委員会では意見が言えません。また、議会が社会通念

を反映していない!と、皆さんの感覚で意見を言おうと思っても一人では発言権や重要な話し合いを聞く資格がありませんので議会改革ができません。例えばせっかく皆さんの声を集め、議会のケープルトV中継を要望しても議長に申し入れをすることしかできません。議論できないのです。海外視察に関する意見もそうです。しかし多数の会派に入れば、市民の皆さんの意見より既得権の方が強くつぶされてしまいます。ということ、皆さんのまっとうな意見を通して行くために、議会内で協力者を求めるには無理がありました。

議員は市民の皆さんの関心のレベルで、どのようにも育っていくものだと思いますし育とうとする人が議員にならなくてはいけないということを、周囲の議員を見ながら自戒をしている毎日です。

「わかる政治 みえる政治」をめざして

吹田いきいき市民ネットワーク いけぶち佐知子

女性センターの非常勤職員として四年半、講座の企画運営を通じ、社会の仕組みを女性の視点で見直すこと、とくに政治の場に女性が参画し、発想の違う女性と男性が知恵と力を出し合うことによって、価値観の多様性を認め合える豊かな社会を築くことができることを学びました。

また、一九九七年に起こった自宅裏山開発問題に対する住民運動にかかわり、何年も前から計画されていたにもかかわらず、開発によって善くも悪くもいちはん影響を受ける地域住民がいちはん最後に知

らされることに矛盾を感じました。市民の意見がどのように市政に反映されるのか見届けようと傍聴した市議会では、議事進行中に出たり入ったり落ち着きのない議員、いねむりをしている議員など、本当に市民の代表として働く意志があるのか疑いたくなるような議員がいました。また、委員会での請願書の審議では、傍聴人が退席させられた休憩時間中に打ち合わせをし、議事再開後数分で討議を終了という有り様で、一見、議会は公開されているようで、実は市民の見えないところで政策決定されていた。

今までの「おまかせ」政治の結果、いろんなところに歪みが出てきています。たとえば、バブルの時期に将来の維持補修費、人件費を十分考えずに行われた大型建設事業のツケは財政を圧迫し続け、現在市民一人あたり四十万円以上もある借入金に加え、市税収入も不況の中で減少しているにもかかわらず、なおハコモノ行政を続けようとしています。

このような歪みを正すためには、正確な事実をわかりやすく示すこと(情報公開)、それをきちんと把握して考えること(見抜く力)が必要です。私は議員と市民がともに知恵を出し合って、しっかりと市政を監視していく体勢をつくりあげるために、まず市民に「わかる政治、みえる政治」が必要であると考えています。また、行政全般を女性の視点で見直すために、女性議員を増やす活動も続けていきたいと考えています。

今回、吹田いきいき市民ネットワークから「次の統一地方選に……」とのお話をいただき、女性の政治参画を自ら実践する機会と考え、市民活動を通じて政治に参画する手段もあるが、直に政治参画し市民の側に立つて働くことができるなら、とてもやりがいのあることだと思い決意いたしました。

悼文を拝読して思いました。素直に笑顔が浮かべられないのは自分に余裕がないから。自分さえ本当の意味でつよくなれば、白井さんのような「和顔施」が出来るのだと、にっこり笑われたお写真を壁に掛けておきたい気持ちです。

ということ、私も「白井博子地の塩賞」に僅かですが協力させていただきたいと思います。このことは前からそのつもりでおりましたが、なかなか実行に至りませんでした。基金五口を出資させて戴きます。

今回の号の企画はとてもよかったと思います。ありがとうございます。

(ドイツ・ハンブルグ市 辻 みゆき)

◆今朝早くドイツよりFAXがあり、また、お願いごとが……の書き出しにドキッ！ 白井博子様のことでした。無事に「あごろ」が届きましたが、未だ手にとつていなかったで、いそいで頁を開き、読み出したらとまらず、パジャマのまま一気に読み終え、感動で胸一杯に

なっているところです。このような方にはのいつときでもお会いできた娘は幸せものだとوراやましく思っています。

「あごろ」を読んでいつも思うことは、私などほんとうに不勉強でなまけ者で恥入るばかりです。なんてすばらしい人がたくさんいるのだらうと、ただただ感動するばかりです。でも世の中（日本）がどんどん悪くなっているようにみえます。どうしてでしょうか。

娘より出資五口とありましたが、私の気持ちもそえて十口送らせて頂きます。

(草津市 辻 昭子)

◆12月31日、午前中でなんとか仕事を終わらせて、家に帰ってきました。「あごろ」245号が届いていました。あわただしく年越しの準備をすませ「フェミニズムとは限らないやさしさ そして勁さ」を読ませていただきました。不覚にも涙がこぼれおち、遺稿を読み終えることに、とても長い時間を要しました。そこにあったのは、白井さんというすばらしい

女性の生きざまでありながらも、あらゆる女性の苦悩と葛藤を包含しており、そして矛盾に立ち向かい続ける姿でした。

私は四十歳を目前にして、友人を亡くし、生きることは次の世代により平等で希望のある社会をきりひらいていくことだと思いました。その一歩として（あごろ）に入会しました。それが正しかったと、今回再確認しました。

やさしさと勁さをもって、今年もがんばろうと思っています。

(白石市 吉田貞子)

◆白井博子さんの特集、お会いしたことのない方ですのに、とても心にひびきました。（東京都千代田区 林 陽子）

◆年始早々自宅の引越して大整理をしていた時、一通の手紙を発見しました。一九九六年八月四日、白井博子さんから頂いたものです。白井さん特集号直後の発見、ぜひご紹介したいと思います。

*

暑中お見舞い申し上げます。お忙しい

毎日をお過ごしのことと存じます。

八月三日、四日の国立婦人教育会館でのワークショップはいかがでしたか。参加を予定していましたが、体の不調で行けなくなり、本当に残念でした。

もう一つ残念なことに、九月二十八日～十月十三日の水俣・東京展にも、とて行かれそうにありません。行くつもりで券三枚求めましたが、無駄になるともったいないので、お送りします。お使いただければ幸いです。

実は斎藤さんにはお話ししたのですが、耳鼻科系に肉腫がみつかり、八月五日から入院治療することになりました。おかげさになるといやなので、申し上げなかったのですが……。

来年のお正月には美酒で乾杯ができませんようにと願っているところです。

若さにかまけてご無理をなさいますめよう、くれぐれもお体を大切になさって下さい。健康な頃がどんなにありがたかったか、しみじみと感じております。

*

結びのことばに、思わず手を合わせたくなりました。難病と闘いながら、私のような元氣な人間の健康まで気遣っていらしたことに、今さらながら白井さんのお人柄が偲ばれます。お送り頂いた券はそのまま取っておいたので、今では貴重な思い出の品となりました。

(あごろ編集部 芦澤礼子)

*そのほか、「白井博子・地の塩賞」にたくさんの方々から基金をお送りいただきました。ありがとうございます。

〔共同参画〕か、平等か?〕

あごろ244号「男女共同参画基本法答申」特集号で、一ページに「審議で最も大きな問題となったのが『男女共同参画社会』というネーミングで、最後まで反対した委員が一人いた」とあり、編集後記で「男女共同参画」という言葉の「うさんくささ」とあります。この点について、もう少し詳しい意見・視点を紹介します。

て下さい。

ちなみに他のメディアを見てもすると①「『女のしんぶん』(日本婦人会議発行)1月1日号では、「樋口恵子さんと大沢真理さんの対談」で、樋口さんは「平等アレルギーのある日本の政治権力者をなだめる部分……。平等を使えなかった意味を考えると口惜しい……」とある一方で、婦人会議議長は「共同参画の扉を開くために」と、社説(?)でアピールしています。

②「法学セミナー」1月号の特別企画「知ってほしい女性行政」では、法政大学の江橋さんは「共同参画社会基本法と男女平等推進条例」で「アレルギーを起こす男の政治家や官僚の多い中で、政府提案の法律を作るには妥協が必要」と審議会の関係者は考えているように見える」とあります。

③「社会新報」12月2日/23日号では「男女平等基本法制定」を目指すとしています。

④「赤旗」11月23日号では、三六〇〇件の意見のうち、最も多いのが「平等基本法」に！だったとしています。

また、昨年7月10日の「女のしんぶん」では、〈北京JAC〉が参院選前に十一政党にアンケート調査したら、すべてが「平等基本法の制定」に賛成した、とあります。

名は体をあらわします。①中学生にもわかるネーミング②外国語に訳した時、あるいは、他の国のネーミングを訳した時、どうなのか③平等アレルギーがあるからこそ、そこに真正面からぶつかる中で、男女平等を勝ち取っていくべきだと、原則論を「あごろ」でも打ち出してほしいと思います。(尾花沢市 菅野真治)

〔編集部から〕「ご意見ありがとうございます。『あごろ』は「旗を振るよりそれだけが考える誌面を」をモットーにしています。『男女共同参画社会』は、政府が打ち出したスローガン。「平等」の中心は「共同参画」だけではないはずです。だいたい「共同参画」の定義そのものもあ

いまいです。このことは241号「男女「基本法」を考えよう」でもふれていますが、審議会の委員が現政府の好みにかなった人で占められている現状を、このネーミングも如実に示しています。

「たいへんな年」の到来に思う」

◆いやはや、たいへんな時代にさしかかってしまった……と、思うことしきりです。でも、へこたれず、ふんばるしかないでしょうね。共にがんばろう。

(八王子市 宇佐川富子)

◆ただならぬ年になりそうですね。日立の九人の女性の裁判も今年はヤマ場を迎えます。日立側は、差別などしたことはないと言いつけております。差別つてそういうものなんですね。どうぞご注目、ご支援くださいませ。

(東京都中央区 増田れい子)

◆改憲勢力が、ついに、むきつけに動きだした感です。平和がおびやかされ、「強

さ」が正当化される時は、人権がとても軽んじられる時です。根を強くしないとね。

(明石市 岡崎宏美)

◆浮かれに浮かれ、身のほど知らずぜいたくさんまい……。このまま行くはずがない」と思いきや、国をあげての周章狼狽ぶり。「昔を今になすよしもがな」だ。だが踊った庶民より踊らせた側により問題があるはずなのに、止まぬ天下り。政党の野合、贈賄、脱税の経営者たち。やはり市民がちゃんしないと、世の中は変わらないんだよねー。

そこで市民の言い分。郵便料金の値上げにご注意。昨年度二百億の黒字があったのが、今年度は一千億の赤字とか。郵便物の扱い量は増えている。何の事はない。昨年二月からの郵便番号七ケタ化が足をひっぱっている。一台二億六千万の「自動読み取り区分機」をこの十年間で六百二十五台購入するというのだから。その上、談合のおまけ付き。世界一高い郵便料金の値上げは、ますますミニコミ

発行者のクビを絞めるんですよ。ワタシ、ミニコミの味方。(横浜市 丸山 尚)

「ちばりよー沖縄の女たち」

◆一年が何年にも感じられるほどめまぐるしかった昨年にもまして、今年は沖縄にとつて厳しい年になりそうですが、あせらず、あきらめず、一步一步あるいていきたいと思っています。

女たちが元氣です。不可能も可能になりそうな氣を起こさせます。全国の女たちのネットワークを、もつと広く深く、つくつていきたいですね。

(名護市 浦島悦子)

◆新しい年が明けました。沖縄でも新知事になり、新たな闘いを本腰を入れて始めなければならぬ四年間のスタートです。「恩納闘争」の真つ只中、すわり込みをされた斎藤さんとひと晩共にできなかったこと、本当に悔やまれます。でも、昨年は道ジュネーを肩を並べて歩かせていただきました。最高の思い出です。

(沖縄県恩納村 長嶺美奈子)

◆昨年は私にとって、とても刺激的な年でした。「5・9基地はいらない大行動」に参加することで、大きく私自身のネットワークが広がりました。その中で斎藤さんとも近しくお話する機会に恵まれ、出会いの幸せを実感いたしました。

今年も確信につながる学習の積み重ねと(運動?)の成果の手応えを求め、元氣に過ごしたいと思っています。

(所沢市 山野澄子)

〔統一地方選に向けて〕

◆一月に市長選挙、四月市議会選挙の予定です。そこで立候補者に公開質問状を出すことにしています。今質問状の内容について協議されているところです。私はアンケートを取るのも良いと考えています。質問状は広島市女性団体連絡会が出します。

(広島市 山本紀子)

◆「あごろ」が届くたびに、背筋がピンとする氣がします。今回、私たちの仲間

二人を議会に送り出すことにしました。

新旧交替は歓迎なのですが、年齢は若くなくても受け継がれるものは同じということではあります。政党や大きな組織のはざまで、無名の女性はともハンディですが、前回当選し、四年間の実績をもつ寺尾恵子さんと共に、がんばつていこうと思っています。北と南に分けて、それぞれ応援団を結成し、思いを実現させようと動きだしています。

(吹田市 小谷訓子)

◆「安保に代わる日米平和友好条約を締結して言うべきことを堂々と言い、平和憲法を堅持する状況を一日も早くつくりたいものです」——《あごろ》の年賀状に私も全く同感です。国民・市民のための政治をめざし、春の一斉統一地方選挙に向けてがんばっております。

(清水市 栗山満子)

〔教育とジェンダー〕

◆福島県では今、古くからの別学伝統高

校が次々共学化されています。共学自体は良い方向だとしても、そのやり方はむしろジェンダーバイアスを強めるものも多く、頭を痛めています。

今後はぜひ教育とジェンダーの問題に取り組みたいと思っています。

(福島市 南條かおる)

〔死刑制度にNOを！〕

◆98年も年二回、六月と十一月に三人ずつ、まるでルーティンワークでもてなすかのように、国によって人殺しが行なわれました。そんな動きに少しでもストッブをかけるために、東アジア反日武装戦線の大道寺将司・益永利明さんと獄外の友人・知人が確定死刑囚に対する処置をめぐって、「国」と東京拘置所を被告にして「Tシャツ訴訟」を一次、二次と提訴しています。口頭弁論が入っていますので、時間があればぜひ福岡までお越しください。

〈一次〉二月五日 十三時半から十五時

福岡高裁五〇一号法廷

〈二次〉三月九日 十三時十分から十四時 福岡高裁三〇一号法廷

連絡は福岡地区合同労組(092・651・4816)。(前原市 谷 和美)

〔今年誓うこと〕

◆昨年後半は公私とも忙しく、原稿も送れずに残りでした。年があけ、新たな気持ちで書きたいと思っています。

(府中市 小林育子)

◆今年は自分に「できること」への第一歩を踏み出したいと思っています。

(富山市 登石知子)

〔頑張れーあーら〕

◆行動しなければ、思っているだけではいけない、そんなこんなで時が過ぎてます。残念ですが……。アメリカ・イギリス・日本、怒りをどこへぶつけたらいいの？ あごらの活動に期待します。

(千葉県印旛郡白井町 桑原ちる子)

◆何のお手伝いも出来ず心苦しく思っておりますが、『あーら』ががんばってくださっていて活動と気力のささえです。

(立川市 田中幹子)

◆いつもしっかりとした視点でよい雑誌を出されているのに感謝しています。

(福岡市 秋枝蕭子)

◆息長く目覚ましいお仕事にいつも感謝の思いを深くしております。

(調布市 高橋倭子)

〔編集後記〕

◆世紀末以上の暗さに暗澹とした新年でしたが、各地からのイキのいいお便りに息を吹き返す思いです。地方にはまだまだ水も緑もありますね。

(千)

◆一号出すほどの力はまだないけれど、地域からの発信はしたい、そんな拠点が揃っています。今年は「地方と女性の年」一人一拠点も大歓迎。各地からの発信をお待ちしています。

(編集部一同)

女ひとり

地方議会に春一番

小川みさ子著

九六年四月、一口五百円のカンパの市民票を携え、鹿児島市議会へ乗り込んだ小川みさ子。たった一人無所属、無会派の航海はイジメの嵐。たとえば毎月の報酬のほかに議会に出ると一日一万円の日当がつくのはおかしい!と発言したとたん、保革一致のイヤガラセ。時には励ましも受け、環境派議員として、市民の健康で安全な生活を守るため日々奮闘。積み立てた日当八十四万円で自費出版した『女ひとり』シリーズ第2弾!統一地方選前に必読です。



四六版三〇〇ページ 定価 本体一八〇〇円(十税)

◆ご注文はハガキまたは電話・FAXで

〈あごら〉会員の方には送料と税金をサービスします。

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4

TEL 03・3354・3941 FAX 03・3354・9014

BOC出版部

あごら 246号 '99は「^{ちほう}地方と^{じょせい}女性」の年 ●発行 1999年1月10日

●編集 あごら

●発行所 あごら MINI 編集部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4

●TEL 03-3354-3941 ●FAX 03-3354-9014 ●振替 00100-0-5264

●定価 本体857円+税

この ひろい宇宙に
たった一つの地球
その 大きな地球に
たった一人のわたし
そして あなた

かけがえのない地球
かけがえのないわたし
かけがえのないあなただから
たいせつに たいせつに しよう
あなたも
わたしも
地球も

たった一度きりの人生だから
思いきり
のびやかに生きよう

だれもが だれをも
ふみしだくことなく
胸の底まで深く息をし
ああ 生きててよかったねと
ほほえみあえる地球にしよう

へあごらへ
人と人の出会うひろば
人と人の共に生きるひろば



9784893060891



1920036008575

ISBN4-89306-089-9

C0036 ¥857E

女による女の BOC 出版部

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4

定価 本体857円+税